巻頭言

21世紀に向かった国際情勢と取り組み

日本ハンドボール協会常務理事　喜井美雄

世紀末を数日に残し、イスラエルの紛争・航空機墜落事故・オーストリアのケーブルカー火災事故等、国際社会は相変わらず激しい変動をしています。その影響を受け世界経済は、若干の回復は感じられるものの国内を含め大変厳しい時代を続けております。

一方、スポーツ界は今世紀最後のシドニーオリンピックが、盛大のうちに幕を閉じ次の2002年日韓サッカーWC・2004年アテネオリンピックに向けすでに動き出しております。世界のハンドボール界では、先のシドニーオリンピックにおいて男女とも相変わらず欧州の常勝国が上位を占めました。アジアでは、男子の韓国が今世紀最後のドリームチームと期待されましたが予選ラウンド敗退という残念な結果に終わりました。女子の韓国も予選ラウンドでは強さを発揮し、メダルが期待されましたが４位に終わりました。この大会を観るかぎりアジアと世界との差は歴然であり、さらにこの韓国に勝てない日本との差を考えると早急の対応が必要であることと、「オリンピックは見るものではなく参加するもの」と痛感した大会でもありました。

したがって、21世紀に向け日本ハンドボール界が発展するために、少年少女に夢を持たせ、ハンドボールを愛する人達や支援する人達に報いるためにも、目標をしっかり定めドラスチックな取り組みを図らなければなりません。そのためには、日本のハンドボールがメジャーになることが必要であり、既に21世紀に向け、アテネに向け日本ハンドボール協会全体が活動を始めています。

日本代表の男女が、アジアで№１になり世界の舞台（世界選手権・オリンピック）にてメダルをとる事です。無論、ジュニア・シニア現場の計画的で効率的な強化の実行は、当然の事です。

今後の取り組みとして

（1）世界大会（世界選手権・オリンピック）出場に向けた環境作り

（2）アジアハンドボール連盟（AHF）の更なる正常化

（3）国際交流の体制定着化と発展

この３本の施策で取り組んでいきます。

第一に、世界大会出場に向けた環境作りについては、国際ハンドボール連盟（IHF）・アジアハンドボール連盟（AHF）の重要ポストに役員を送り込むことです。IHF／AHFの役員の任期は、オリンピックの期間であり、各総会の選挙で決定されるためアジアの東地区（日本・中国・韓国）が協力し優位にすることです。

第二に、AHFの更なる正常化については、AHFの定義・規定・運用が機能していなかったので日本が主導で進めてきた結果、やっと規定が整備されました。今後も、運用と管理ができるように確認していきます。

第三に、国際交流については、ドイツ・スペイン・デンマークを拠点国とし体制が整ってきたため定着と更なる展開に向け活動を進めます。

最後に、21世紀に向けわれわれ一人一人が意識を変え、その結果日本ハンドボール界の発展につながると肝に銘じ進めてまいります。格段のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

第55回国民体育大会

男女総合優勝は地元富山県が獲得、女子総合は熊本県が獲得

第55回国民体育大会2000年とやま国体は、10月15日(日)より19日（木）まで、氷見市ふれあいスポーツセンターを主会場に、氷見市総合体育館、氷見高校、有磯高校で、全国のブロック予選を勝ち抜いた80チームの参加で開催された。

注目の男女総合優勝は、地元富山県が、少年男子・富山選抜と成年女子・立山アルミの活躍で獲得した。総合優勝の県に送られる大会会長トロフィーは、富山県ハンドボール協会越前敏丈理事長が受け取った。第2位は、昨年度の優勝県の熊本が獲得し、第3位には愛知県が入った。以下第4位には、筑波大学のメンバーを主体とした茨城選抜とインターハイを制覇した伊奈高校の少年男子の活躍で茨城県が入った。

一方、女子総合は、成年女子・オムロンと少年女子の活躍で熊本県が獲得。地元富山県は、成年女子・立山アルミの活躍があったが第2位にとどまった。第3位には少年女子・福井商業の活躍で福井県が獲得した。以下、愛知県、大分県、茨城県の順であった。

第55回国民体育大会総合成績

男女総合順位			女子総合順位		
順位	都道府県	得点	順位	都道府県	得点
1位	富山県	100点	1位	熊本県	65点
2位	熊本県	90点	2位	富山県	47.5点
3位	愛知県	72.5点	3位	福井県	40点
4位	茨城県	65点	4位	愛知県	37.5点
5位	広島県	52.5点	5位	大分県	35点
5位	福井県	52.5点	6位	茨城県	30点
7位	埼玉県	42.5点	6位	埼玉県	30点
8位	大阪府	37.5点	8位	広島県・大阪府 石川県・山梨県 宮城県・三重県	12.5点

注）得点には、参加得点を含まず競技得点のみを表示

成年男子

成年男子の部は、16チームの参加で行われた。1回戦では、本田技研熊本の熊本県が石川県を辛くも逆転で制して勝ちあがった。その他、日本リーグチームを中心とするシードチームが順当に勝ちあがった。

2回戦では、上位入賞を目指す地元富山県が大同特殊綱の愛知県に挑戦。地元の応援の中、必死に追いすがるが、地力に優る愛知県が2点差で準決勝に勝ち上がった。また、本田技研の三重県と香川県との一戦も好試合となった。前半を同点に終えた両チームは、後半も一進一退を繰り返したが、高い壁の硬いディフェンスで食い下がる香川県を下した三重県が勝ち上がった。

準決勝は、大同特殊綱の愛知県対三陽商会の東京都、湧永製薬の広島県対本田技研の三重県の日本リーグ勢同士の戦いとなった。

■準決勝

愛　知 19 (8—8 / 11—10) 18 東　京

立ち上がりから両チームとも気合いが入っており、熱のこもったプレーが続く。まず愛知が⑥山本の絶妙なコースをつくロングシュートで先制点を取る。しかし東京も⑤中川のロングシュートですぐに取り返す。前半14分ここまで一進一退の攻防が続いていたが、愛知が④冨本の2連続得点で5—3とリードする。しかし東京はここから⑧岩本のロングシュートや⑦永島のスピード溢れる速攻などで4連取し、逆転に成功する。愛知も粘りを見せ、⑧藤井のポストシュートなどで同点に追いつき、両者一歩も譲らぬまま、後半に突入する。

前半と同様、後半も緊迫したゲーム展開が続く。後半6分東京はまさかの連続退場。愛知はこの絶好のチャンスを

生かすことができない。また東京もセンター⑪所が愛知の高いディフェンスを何とかかく乱させようとするが、うまくいかない。しかし後半13分愛知⑧藤井のポストシュート、⑤萩本のランニングシュートなどで３連取。東京も⑨田中将のサイドシュート、⑤中川のミドルシュートなどで必死に食い下がる。終盤、愛知の⑥山本のロングシュートがおもしろいように決まり出す。そこで東京はディフェンスラインを上げる作戦に出る。この作戦が的中し、愛知は攻め手を欠き始める。残り１分、愛知②松林がサイドシュートを決め、19―18とする。東京は最後の攻撃も及ばず、そのままタイムアップ。愛知が東京を下し、この激戦を制した。

(盛田祐子)

広　島 24（10―８／９―11／(延長)／２―０／３―１）20 三　重

前半開始早々、広島⑨小沢のシュートなどで３点を連取し、三重が追う展開となった。

両チームの気迫のこもった攻防が続き、三重は24分⑪谷口のサイドシュートで加点するもののなかなか広島をとらえることはできなかった。広島は手堅い守りと⑨小沢の前半５得点の活躍や終盤での⑥山口の連続２得点とで詰め寄る三重を10―８と前半をリードした。

後半は前半の展開とうって変わり、三重は⑥日原の速攻でのシュートを皮切りに４点を連取し、12―10と逆転に成功。試合の主導権は、三重に移った。中盤まで両チームは鋭いパスワークと堅い守りによる攻防を続け、25分広島は⑩古家のシュートでようやく同点に追いつき、後半は19―19となり延長へと突入した。延長前半、三重は同時に２人の退場者を出し苦しい展開になり、２点連取された。延長後半にも広島の勢いは止まらず、⑨小沢の３得点で広島が24―20と三重を突き放した。

(本川久直)

■３位決定戦

三　重 22（12―２／10―７）９ 東　京

前半、立ち上がりは、三重が⑨阿部の鋭いフェイントによるシュートを皮切りに５点連取した。対して東京は、やや固さが目立ち、パスミスなどからリズムが作れず苦しい展開となった。東京は作戦タイムで体勢の立て直しを図り、11分⑧岩本のシュートで初得点した。三重はキーパー⑫吉井の好セーブもあり、東京に加点を許さず、12分⑥日原のシュートから23分⑦斉藤のシュートまで、さらに５点を連取し11―１とした。東京は25分の⑤中川のシュート得点のみで、前半は12―２で三重が東京を大量リードして終了した。

後半、序盤は両チーム一進一退の攻防が続き、交互に加点していく展開となった。中盤から三重が多彩な攻撃で、17分⑤長谷川の速攻から３点連取と波に乗った。東京は巻き返しを図ろうと必死に食い下がったが、最後まで自分たちのリズムを作れなかった。三重は前半のリードを保ったまま、東京に22―９と快勝した。

(本川久直)

■決勝

広　島 20（12―９／８―９）18 愛　知

準決勝では、共に激戦を制してきた両チームの対戦となった決勝戦。まず広島が、④田場のロングシュートで先手を取る。しかし、愛知も④冨本の豪快なロングシュートですぐに取り返す。熱のこもった攻防が続く。広島が、③下川の２連続得点で５―３とすれば、今度は愛知が、⑩末岡の２連続得点で必死に食らいつく。前半23分、愛知⑦市原が退場のすきに、広島は、この試合絶好調の③下川の速攻などで３連取し、リードを広げる。愛知は、左腕エース⑥山本のロングシュートなどで応戦。９―12で前半を折り返し、後半に望みをたくす。

後半立ち上がり、愛知のＧＫ⑫日原が好セーブを連発。広島の攻撃を10分もの間、０点におさえる活躍を見せる。それに応じるかのように⑤萩本、③南川の連続速攻などで３連取し、同点に追いつく。中盤、１点を取られては取り返すという一進一退の攻防が続くが、後半22分、広島は④田場のミドルシュート、キャプテン⑥山口の気迫のこもったポストシュートなどで18―14とし、リードを広げる。

しかし、ここから愛知が粘りに粘る。④冨本のロングシュート、⑧藤井の速攻など意地を見せ、１点差にまで詰め寄る。残り30秒、愛知は積極的なオールマンツーマンディ

フェンスにつくが、逆に反則を犯してしまい、相手の７ｍスローへ。広島⑨小沢がこれを確実に決め、タイムアップ。終始、ゲームを優位に進めた広島がこの激戦を制し、栄冠をつかみ取った。（盛田祐子）

広島県は３年ぶり12回目の優勝となった。

成年女子

成年女子は、24チームの参加で行われた。１回戦は、筑波大学を中心メンバーとした茨城県、宮崎県、福岡県、などが大差で２回戦へと駒を進めた。

２回戦から日本リーグ勢が登場したが、ソニー国分の鹿児島県は茨城県に、31―21と敗れ去り、日立栃木の栃木県は、来年の国体を控える宮城県に敗れ去った。

準々決勝の対戦は、北國銀行の石川県対茨城県、立山アルミの地元富山県対イズミの広島県、シャトレーゼの山梨県対ブラザー工業の愛知県、宮城県対オムロンの熊本県の対戦となった。石川県対茨城県の一戦は、前半、茨城が山

田、早船の活躍でリードし、後半石川県の猛追を振りきり、準決勝へと勝ち上がった。一方、栃木県対宮城県は、宮城県が前半一進一退の展開から抜け出し、４点リードで後半へと入り、一度は同点にされるものの、板谷、橋沼らの活躍により、粘る栃木を振りきり、準決勝へと進んだ。

準決勝は、茨城県対地元富山県、愛知県対熊本県の戦いとなった。

■準決勝

富　山 23 (12―12 / 11―５) 17 茨　城

ともにロングシュートあり、ポストシュートありの見応えのある両チームの対戦は、序盤から激しい攻防戦が繰り広げられた。

地元富山は⑦佐藤のロングシュート、⑧新畑の気迫あふれるポストシュートで加点した。一方の茨城は⑤山田を中心とした鋭いフェイント・パスワークから次々とゴールを狙い、前半12―12の同点で折り返した。

後半に入っても、取ったら取り返す一進一退の攻防が続く。中盤になって富山のＧＫ①浅井が茨城のロングシュートを次々に好セーブし始めると、次第に流れは富山に傾き、必死に追撃する茨城を振り切り、富山が決勝に駒を進めた。（児島愛）

熊　本 23 (９―７ / 14―６) 13 愛　知

愛知⑦菅谷と熊本④大石の打ち合いから始まった前半、熊本はＧＫ①山口を中心によく守り、速攻での得点を狙うが、ミスが続き決定打が出ない。中盤、⑦宮本とポスト⑨坂元とのコンビできっかけをつかんだ熊本が、３点差で試合を進める。立ち上がりは熊本ＧＫ①山口の好守に苦しめられた愛知も、②服部の確率の高いシュートなどで巻き返し、２点差で前半を終える。

後半、退場で１人少ない熊本ディフェンスを、愛知は切り崩すことができない。５人で守り切った熊本は、６人に戻った直後、フローターからポストへのパスが通り、後半１点目を取る。愛知は３―２―１ディフェンスで相手のミスを誘い、突破口を開きたかったが、ディフェンスの足が動かなかった。熊本は得意の速攻でペースをつかんだ。セットオフェンスでも右45度の④大石がディフェンスの上から豪快なロングシュートをたたき込み、試合を決めた。愛知は⑥加治木のサイドシュート、④菅谷のカットインシュートなどで反撃したが、単発に終わり、試合の流れを変えるまでには至らなかった。（加埜優子）

■３位決定戦

茨　城 21 (10―５ / 11―12) 17 愛　知

前半、茨城②岡野が鋭いカットインで先制。愛知もすぐに⑦菅谷美奈のカットインで点を取り返す。激しい点の取り合いになるかと思われたが、両チームともリズムをつかむことができず、ロースコアの展開に。前半中盤に愛知が４―４に追いつくが、茨城のＧＫ⑫安達の好セーブとパスミスが続いて無得点が続く。一方茨城は、序盤なかなか打ち切れなかった⑥早船のミドルシュートが決まり、リズムをつかんだ茨城が５点リードで前半を折り返した。

後半は、前半とうってかわって、両チームともスピードのある試合展開が行われた。茨城は⑦飯田の角度がないところからのサイドシュートが決まり、愛知を突き放そうとする。一方、愛知も④菅谷美枝のミドルシュートや速攻で猛反撃する。後半は、一進一退の気迫ある試合展開だったが、前半の５点差が響き、茨城が追いすがる愛知を振り切って勝利をつかんだ。（浜井孝久）

■決勝

熊　本 19 (９―10 / 10―６) 16 富　山

先制点は富山。ポスト⑧新畑が着実に決める。その後もリズムに乗った攻撃を見せ、④中塚のカットインシュート、②水野のミドルシュートなどで得点を重ねる。ＧＫ①浅井が相手の７ｍスローをシャットアウトするなど、ディフェンスもよく守り、中盤までは７―３と富山がリードを広げ

る。しかし、ここから富山のオフェンスの足がやや止まる。熊本のディフェンスも落ち着きを取り戻し、守って速攻のパターンで⑥林、⑩屋嘉がよく走り、シュートを決める。29分には⑤安心院が決め、熊本が９—９の同点に追いつく。このまま前半終了かと思われたが、富山⑤前山が思い切りよくミドルシュートを決め、10—９と富山の１点リードで前半を終了。

後半立ち上がり、⑦佐藤の得点で２点差とした富山だったが、ここから熊本が猛攻撃。⑥林の速攻、⑨坂元のポストシュートなどで５連続得点し、逆転に成功する。一方富山もあきらめずに追撃する。⑧新畑のポストプレー、⑤前山のカットインプレーなどで相手の反則を誘い、７ｍスローを⑤前山、④中塚が着実に決めていく。21分過ぎには、16—15の１点差に迫った。しかし、ＧＫ①山口を中心とした熊本の堅い守りを崩しきることができない。逆に熊本が⑩屋嘉の速攻などで３連続得点。富山も⑧新畑のポストシュートなどで必死に粘るが、熊本が19—16で逃げ切った。

（有島洋之）

熊本県は、６年ぶり15回目の優勝となった。

少年男子は、インターハイ優勝の茨城・伊奈高校、同準優勝の瓊浦高校を中心メンバーとする長崎県、高校選抜優勝の氷見高校を中心メンバーとする地元富山県など、24チームの参加で行われた。

１回戦は、横浜商工の神奈川県、福井県の北陸高校など実績のあるチームが順当に勝ち上がった。２回戦も、シードチームと実績のあるチームが難なく勝ち上がり、準々決勝へと駒を進めた。

準々決勝の長崎県対福井県は、後半、福井のミスを速攻に繋げ、６連取をした長崎が福井を振りきって準決勝へと駒を進めた。沖縄県対茨城県は、後半15分過ぎまで全く互角の展開。ここから、引地、染谷、岡野らの活躍で31—25と粘る沖縄を振りきり準決勝へと駒を進めた。また、地元富山県は、地元の大声援の中勢いに乗り、35—20の大差で

準決勝へと駒を進めた。大阪対神奈川の試合は、大阪が鶴谷、志賀の活躍で、31—15の大差で準決勝へと駒を進めた。

■準決勝

茨　城　25（12—９ ／ 13—13）22　長　崎

前半から白熱した好ゲームとなる。長崎ＧＫ⑫志水の好セーブと体をはったディフェンスで、茨城の攻撃をくい止めれば、茨城も高さを生かしたディフェンスで、長崎⑪岩永のロングを封じる。最初にペースをつかんだのは茨城。⑩地引のステップシュート、⑥染谷のブラインドシュートなどが決まり４—２とリードした。しかし、長崎も⑧船木のサイド、⑪岩永のロングなどで４連取。６—４と逆転に成功した。このまま長崎のペースになるかと思われたが、長崎に退場者が出る。茨城はパワープレーのチャンスを生かし、同点に追いつく。その後も⑩地引、⑤中山らのパワフルなシュートが決まり、前半は12—９と茨城がリードした。

後半に入って茨城が一気にスパート。立ち上がりの４連取で７点差にすると、その後も⑥染谷、⑩地引らが豪快に決め、引き離す。しかし、長崎もあきらめない。見事な粘りを見せる。19分過ぎから⑧船木、⑩岩尾、⑥前田、⑨小川で６連取し、２点差まで迫った。その後もよく攻めたが、無情のタイムアップ。25—22で茨城が逃げ切った。

（有島洋之）

富　山　26（13—11 ／ 13—12）23　大　阪

前半、大阪のスローオフから開始。互いにミスが続く中、大阪は⑪小西のサイドシュートで先制。さらに⑤志賀のロングシュートで富山を引き放そうとする。追う立場となった富山は、⑪大町のポストプレーや④赤尾のミドルシュー

トなどで同点に追いつく。その後も一進一退の気迫あふれる攻防が続くが、前半終了５分前、退場者が出た大阪ディフェンスをずらしで攻め、富山が３点を連取する。大阪も反撃に出るが、富山が２点リードで前半を折り返した。

後半開始早々、富山⑤大房のロングシュートや③大道のミドルシュートが決まり、富山が流れをつかんだかのように思えたが、大阪もじわりじわりと追撃する。大阪は前半決まらなかったフリースローフォーメーションがうまく機能し、⑤志賀や④大木のロングシュートなどが決まり、残り７分で同点に追いつく。しかし、大阪のポストプレーを阻止し、速攻につなげていった富山が、③大道の決定打で大阪を振り切り、26―23で勝利した。（浜井孝久）

■３位決定戦

長　崎 25 (12―10 / 13―14) 24 大　阪

出だしから主導権を握ったのは、鋭いフェイントを駆使し、大阪ディフェンスを突破した長崎で、一方の大阪は、④木下、⑤志賀のロングシュートで応戦するが、長崎ＧＫ⑫志水にゴールを阻まれ、苦しい展開になった。それでも踏ん張る大阪は、ポストをからめた攻撃で２点差までつめ寄り前半を終了した。

後半開始５分で大阪が同点に追いつくと、その後は１点を争う激しい攻防戦が繰り広げられ、残り２分まで一進一退が続いた。最後は長崎⑦濱口のポストシュートが決まり、少年男子３位決定戦は、長崎の勝利で終わった。大阪の素晴らしい反撃に拍手を送りたい。（児島愛）

■決勝

富　山 29 (12―９ / 17―10) 19 茨　城

大声援の中、茨城のスローオフで試合開始。大声援を背に受けて、立ち上がりは地元富山がペースをつかむ。巧みなパスまわしから、ポスト⑪大町が２連続得点。しかし、茨城も反撃を開始。⑩地引、⑥染谷が豪快にステップシュートを決め、試合の流れを引き戻す。８分過ぎには４―４の同点となった。ここからは一進一退の攻防が続く。富山はＧＫ①田谷が好セーブを見せ、茨城のパワフルな攻撃を必死にくい止める。

④赤尾の負傷退場があり、苦しい展開となるかと思われた富山だが、23分過ぎから、⑪大町のポストシュート、③大道のロングシュート、⑦酒井の見事な速攻で４連続得点。12―９とリードして前半を終了した。

後半に入り、富山がさらにスパートをかける。⑧草原の速攻、⑤大房のロングシュートなどが次々と決まり、12分過ぎには20―10とリードを広げる。茨城も⑤中山のポストシュート、③岡野のカットインシュートなどで反撃を試みるが、富山の勢いを止めることはできない。③大道、⑦酒井らで着実に加点した富山が、29―19で快勝した。中学校で３年間、高校で３年間、強化練習会や合宿を繰り返してきた富山の選手たち。その総力を結集した見事な優勝であった。（有島洋之）

富山県は、21年ぶり５回目の優勝を飾った。

少年女子

少年女子は、高校選抜優勝の桜花学園とインターハイ準優勝の東海学園の合同チームの愛知県、インターハイ優勝の浦和実業、谷口選手を擁する福井商業など、16チームの参加で行われた。

１回戦は、第１シードの愛知県対東京都と地元富山県対岩手県の戦いが好試合となった。

愛知県対東京都の試合は、両チーム一進一退攻防で前半を９―９の同点で折り返した。後半、東京都は４連続得点で抜け出すかに見えたが、愛知はプレスディフェンスで相手のミスを誘い同点に追いつく。残り１分愛知県は、水野がサイドシュートを決め接戦を制した。また地元富山県対岩手県の１戦は、前半10分過ぎから岩手県のミスに乗じ、

速攻で着実に加点し、15―９で折り返した。後半富山県は５分過ぎから３連続得点でペースをつかむかに見えたが、岩手も踏ん張り２点差にまで詰め寄った。しかしながら、前半のダメージが大きく追いつくまでにはいたらなかった。

２回戦では、第１シードの愛知県が敗れるという波乱が起きた。愛知県対熊本県の一戦は、前半愛知県が、まだ動きの硬かった熊本ディフェンスを、ロングシュート、ポストシュート、カットインなどバランス良く攻め11―９で折り返した。後半熊本県は、ディフェンスの足が良く動き、積極的ディフェンスから愛知県のミスを誘い得点を重ね、９分には、12―11と逆転した。その後は熊本県が優位に試合を進め接戦をものにした。

また、地元富山県対インターハイ優勝浦和実業の埼玉県の一戦も大激戦となった。埼玉県は、フローターとポストのコンビプレーで着実に得点を重ね、一方富山県もしつこいディフェンスから速攻につなげ、前半を12―12の同点で終了した。後半に入り、富山県は、北谷、小川で勢いに乗り、11分には20―16と４点リードをする。しかし埼玉県も千葉の活躍で４連取で同点に追いつく。残り５分、埼玉県は速攻などで２連取し逆にリードを奪う。富山県最後の攻

撃も、７ｍスローの１点にとどまり、埼玉県が接戦をものにした。

この結果、準決勝は、熊本県対福井県、大分県対埼玉県の対戦となった。

■準決勝

大　分 19（7—11／12—7）18 埼　玉

準々決勝で地元富山を破った埼玉は、キャプテン②千葉のロングシュートを皮切りとし、リズムに乗る。一方大分は、切れのあるフェイントでチャンスをつくる。大分は再三７ｍスローのチャンスを逃し、点に結びつけることができない。両者一歩も譲らず４—４の同点。12分過ぎ大分が④工藤の左サイドシュートで逆転。一方埼玉も③安斉のワンステップシュートや速攻で６—５と再度逆転し、埼玉ペースで試合が流れ、11—７と埼玉が４点リードし、前半を折り返した。

後半に入り、大分は⑦阿部の速攻などで３連取し、10—11と１点差につめ、大分ペースで試合が流れる。埼玉も③安斉がパスを廻しながらチャンスをつくるが、大分のしつこいディフェンスやＧＫ①藤間の好セーブに阻まれ、苦しい展開が続く。

足を止めることのない大分は、着実に点を取り、17—12と引き離すが、残り10分、埼玉は１人少ない大分に対し、速攻や７ｍスローで５連取し、１点差につめよる。

残り１分、埼玉も最後の踏んばりを見せるが、一歩届かず、大分が１点差で逃げきった。（新村裕美）

福　井 27（13—12／14—9）21 熊　本

前半立ち上がり、熊本は積極的な３—２—１ディフェンスで福井のオフェンスを中に入らせない。攻めても②関の独特な間合いからのミドルシュート、④高野のコースを狙ったロングシュートなどで確実に加点する。福井は11分過ぎ長身⑤谷口をトップおいた３—２—１ディフェンスで熊本のミスを誘うが、ポストをうまく使われる。攻撃でもミスが目立ち、一時は６—12と６点差を追う苦しい展開となる。前半20分、福井の一線ディフェンスが機能し始め、速攻を中心にスピードある攻撃で７点を連取、１点リードで前半を終えた。

後半になっても福井の勢いは止まらない。前半から安定した守りを見せていた①家城を中心によく守りよく走った。熊本は②関のミドルシュート、速攻で突破口を見いだそうとするが、試合の流れを変えるまでには至らなかった。

（加埜優子）

■３位決定戦

埼　玉 31（14—10／17—12）22 熊　本

前半、埼玉が②千葉のミドルシュートで先制し、⑥早川のミドルシュートなどで、熊本を引き放そうとするが、熊本も④高野のミドルシュートで追撃し、４—４の同点に追いつく。同点になってからは、互いにあせりが見られ、打ち急ぐ場面が見られた。しかし、落ち着きを取り戻した埼玉が、中盤４連取する。一方、熊本もその後④高野が健闘し、追いすがる。前半は、中盤の４点差のまま埼玉がリードして折り返した。

後半熊本は、②関のディフェンスのすき間をねらったブラインドシュートが、決まり出す。熊本はその後も追撃するが、リズムに乗った埼玉が②千葉を中心とした速い攻めで攻撃の手をゆるめず、31—22の大差で熊本を下した。

（浜井孝久）

■決勝

福　井 21（10—6／11—11）17 大　分

序盤はミスが多く、互いにリズムをつかめないまま時間が過ぎる。11分過ぎ、⑤谷口のポストシュートできっかけをつかんだ福井は、ポストを絡めた鋭いパス回しで４点を連取、７—３とする。大分は福井の１—２—３ディフェンスの中に入り込むことができずミスを連発、波に乗ることができない。大分はタイムアウトを取り、リズムを変えようとするが、福井のリズムを断ち切ることができず、４点差のまま前半を終えた。

後半、立ち上がり、大分はダブルポストで福井のディフェンスを攻め、６点を連取し12—10と逆転する。⑤谷口の７ｍスロー、⑪金の目の覚めるようなロングシュートで同点に追いついた福井は、一気に加速した。大分は速攻でミスが続き、点差を縮めることができなかった。

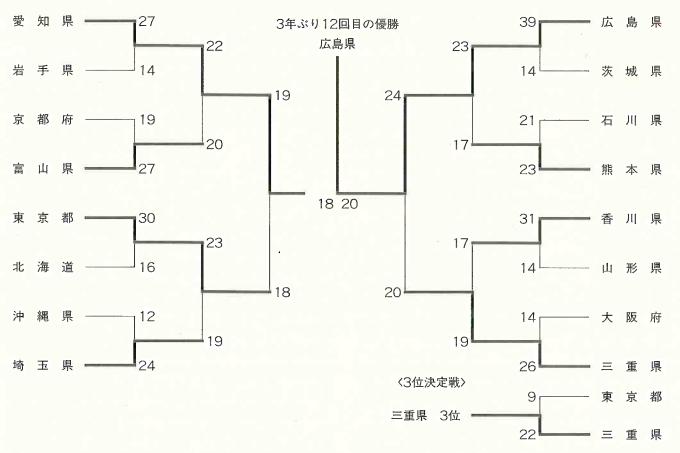
一試合を通して両ゴールキーパーの好守が光り、最後まで結果が分からない締まったゲームとなった。（加埜優子）

◀常陸宮殿下、妃殿下にご説明する市原専務理事

国体ハンドボール競技を常陸宮殿下が観戦

氷見市ふれあいスポーツセンターで行われた成年女子準決勝、愛知県対熊本県の一戦を、常陸宮殿下と同妃殿下がご観戦なさいました。両殿下は10月18日、氷見市長長堂故茂氏、米倉日本ハンドボール協会会長、市原専務理事、富山県ハンドボール協会中川周三会長らの出迎えを受けられ、ロイヤルボックスに入られました。ハンドボール競技のご説明役には市原専務理事があたりました。

第55回国民体育大会 ハンドボール競技会・結果

2000年10月16日～19日／於・氷見市総合体育館 他

2000年10月15日～19日／於・氷見市ふれあいスポーツセンター 他

第55回国民体育大会 ハンドボール競技会・結果

〈成年女子〉

2000年10月15日～19日／於・氷見市ふれあいスポーツセンター 他

6年ぶり
15回目の優勝
熊本県

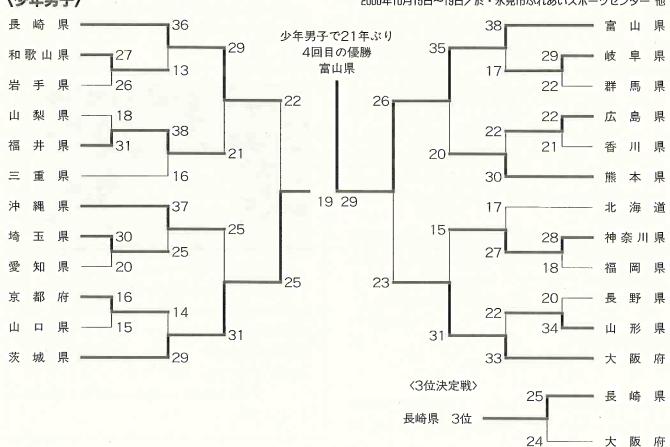
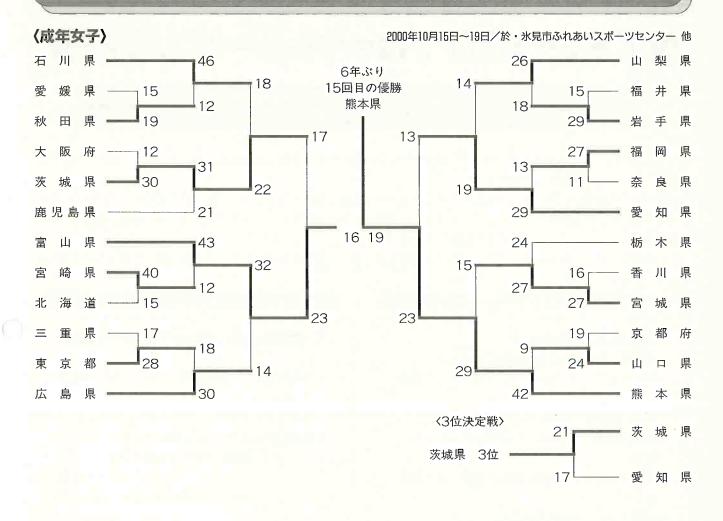
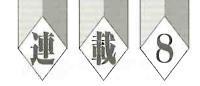
石川県 46
愛媛県 15
秋田県 19
12
18
大阪府 12
茨城県 30
31
鹿児島県 21
22
17
富山県 43
宮崎県 40
北海道 15
12
32
三重県 17
東京都 28
18
広島県 30
14
23

16 19

山梨県 26
福井県 15
岩手県 29
18
14
福岡県 27
奈良県 11
13
愛知県 29
19
13
栃木県 24
香川県 16
宮城県 27
27
15
京都府 19
山口県 24
9
熊本県 42
29
23

〈3位決定戦〉
茨城県 21
愛知県 17
茨城県 3位

〈少年女子〉

2000年10月15日～18日／於・氷見市ふれあいスポーツセンター 他

NTS2000ブロックトレーニング報告

NTS運営副委員長　東　根　明　人

NTS2000は８月25・26日の四国ブロックを皮切りに、９月16・17日に実施した北信越ブロックまで、全国９ブロックにおけるトレーニングを無事に終了しました。

開催にあたり関係者の皆さまに多大なるご協力をいただき大過なく執り行うことができ、厚く御礼申し上げます。

運営委員会では10月14日にジェネラルミーティングを開き、ブロックトレーニングに関する成果、要望、課題と対策等を話し合いました。以下にその概要をご報告します。

あわせてアンケートおよびインタビューにより収集しました「子供たちの夢」および「外部評価」もまとめてみました。

表１　NTS2000ブロックトレーニングの成果

- 基礎の大切さを再認識した。
- 指導者、子供たちに良い刺激になった。
- ウォームアップ、ボディコントロールなど参考になった。
- 日頃の指導法との差があり勉強になった。
- 日本全体がひとつになって取り組むスタートになる。
- 現場の協力があり当日の運営がスムーズに行えた。
- 記念Ｔシャツが好評であった。

………など

表２　NTS2000に対する指導者からの要望

- 一貫指導は非常に重要なので是非継続してほしい。
- 回数を増やし、指導者のレベルアップにつなげてほしい。
- 今後もステップアップする内容にしてほしい。
- 内容が多いのでもう少し時間が必要。
- レベル別に内容を工夫する必要がある。

………など

表３　NTSに関する課題

- 全日本、特にＵ―16、Ｕ―19との関連性。
- 指導内容の検討と充実。
- 事務処理について。
- 運営に関する課題（時期、参加者、会場等）。
- フィードバックについて。
- 経費について

表4　課題に対する具体策

- U－16、U－19については来年度よりＮＴＳから選考する。
- 指導内容については早期に案を作成するとともに、来年度の教本、ビデオ（ＧＫを中心）の制作準備に入る。あわせて用語の統一を実施する。
- 事務処理については書類の統一、公文書の早期発行などを改善する。
- 運営面ではブロックとの連携を図り、スピード化と徹底を目指す。
- ブロックトレーニングに参加した指導者、競技者、開催地に対し、お礼状と体力測定、アンケート結果等のフィードバックをする。
- ブロック運営上の経費（特に交通費）について県協会と検討する。
- 審判の参加を含め、多くの関係者へのアナウンスをする。
- 国内外の技術、戦術に関する分析を実施する。

表5　子供たちの夢

- 全日本に入り、オリンピックや世界選手権で活躍したい。
- プロになりたい。
- 外国で活躍するプレイヤーになりたい。
- 優勝したい。
- 生涯ハンドボールを続けたい。
- 指導者になりハンドボールを広げたい。

………など

表6　ＮＴＳに対する外部評価

- ＪＯＣ一貫指導システムプロジェクト中央班に本年度より蒲生が参画。
- 同プロジェクト一貫性体力トレーニング研究の中で、東根がコーディネーショントレーニングを担当。
- 10月上旬、文部省からＮＴＳに関するヒアリング調査
- 10月下旬、他競技団体よりＮＴＳについて参考にしたいとの申し出。

以上のように課題は山積みされていますが、まずは「実施した」ことが重要と考えます。事を起こし、多くの方々にご理解、ご協力をいただき、さらにご意見を賜り、創り上げるプロセスに価値があると思います。今回は特に、指導普及委員会との連携（３月のコーチ・レフェリーシンポジウムにおける説明、８月の公認Ｃ級コーチ講習会における講義・実技、ＮＴＳ運営委員会への参画等）は、将来に向けて意義深いものと確信します。

一方で、明日のハンドボール界を背負う子供たちの頼もしい夢を実現させる使命も、あるのではないでしょうか。

内部、外部の評価を真摯に受け止め、全員参画型のＮＴＳに育て上げましょう。

小学生チーム活動特集

ハンドボール競技人口はここ数年足踏み状態が続いており、小学生を始め若年層への普及・拡大は喫緊の課題となっています。ついては、先に開催されました「第13回全国小学生ハンドボール大会」にて上位入賞を果たしたチームに、日頃の活動状況を報告いただき、一人でも多くの小学生が、また一つでも多くの小学生ハンドボール競技団体が増えるように、数回にわたりチーム活動を掲載いたします。

女子優勝チーム
■三佐ハンドボールクラブスポーツ少年団（大分県）

①団体名・指導者名

三佐ハンドボールクラブスポーツ少年団・川上千代子

②団員数（学年別）平成12年10月現在17名

６年生：６名、５年生：２名、３年生：２名、２年生：６名、１年生：１名

③団体発足の経緯

昭和56年に三佐小ハンドボールクラブとして誕生し今年で19年目をむかえています。小学生男子のクラブスポーツチームは、かなり前からあったものの、小学生女子のクラブスポーツではまだ県内でも少なかったが、松井先生転任後小学生ハンドボールが、大分でも普及し始めたこともあり女子スポーツクラブを発足、しかし設備のない（ゴール等）状態からのスタートだったために、大変なご苦労だったと思います。

この19年間には、人数が減ってしまったり次に監督をやってもらえる人が見つからず監督さんのいない状態で練習や試合に望んだ年もあったらしく、私が指導を始めたころは、のんびりした（お楽しみ）チームに戻っていました。スポーツをやっているのに、子ども達に目標や自信がないのをかわいそうに思い３年前よりお誘いがあってひきうけています。

④指導に当たって特に留意されている事項

小学校で初めてハンドボールに接する子ども達に、身体を動かす楽しさ・礼儀・チームワークの大切さを、主幹とし特に力を入れ指導しています。

チームの結束力・メンバー内の信頼関係を高めるためにも練習を休むことは、何も言わないけれど、休む理由をキチンとみんなに伝えることの大切さを理解させている。

低学年には、パス・シュートを主に取り込んで、ゴールするうれしさ・喜びを教え、高学年には、動きの中で人に合わせるプレーから、人を使うプレー（人の動きに合わせ判断・行動する連携する動作）お互いのポジションの役目・役割を守って１点を取りみんなで１点を守る、うれしさを体感・実感してもらえるよう指導しています。

⑤地域社会・学校との連携やかかわり方について

第１回全国大会優勝、第４回大会では準優勝、第６回大会優勝と今回の全国大会優勝と三佐ハンドボールクラブは、好成績を残しており強い三佐ハンドボールクラブは、今でも健在！というイメージは、あるものの逆に『家の子どもには無理』という声もある。三佐小学校は、全校生徒310人ほどの大きくはない小学校です。

こと、運動会ともなればリレー等の花形種目ではその選手ほとんどがハンドの子たちで生徒会・学校行事・地域の行事に進んで参加しており親も子どももひたすら目立っている状態です。

活動報告や写真などを自治会施設などに掲示させてもらうことや、高学年中心に入団募集のチラシ（手書きでかいたもの）を配布することをやっていますが、一番良いのは試合を見に来てもらうことだと感じています。試合前の練習以外は、誰でも参加できるようにしています。

ＯＧやＯＧ父母によるつながりが第１回大会よりあり、また、ＯＧ達もすでに社会人として活躍しているなかで地域での理解は高く、大会に向けての暖かい励ましの言葉は、胸を打つものがありました。

⑥ある日の練習メニュー（時間と具体的な練習内容）

時刻	時間	内　容
16：30	10	ストレッチ準備運動
	5	ランニング（学校内グランド・体育館）
	10	キャッチボール
	30	パス練習：（ランニングパス・三角パス・四角パス）
	5	休憩
17：30	60	シュート練習：（ステップ・ジャンプ・サイド・フェイント）のシュート
	10	休憩
18：40	20	３対３ミニゲーム
19：00	30	６対６ミニゲーム
	5	ランニング（学校内グランド・体育館）
	5	整理運動
	10	ミーティング
20：00		かたづけ（用具・体育館清掃）

⑦他の団体指導者への助言等

県内の小学生チームの指導者も私のハンドボールに深くかかわりのある人達が多く高校時代のコーチや先輩達も子どもを持つ親となりハンドボールを教えています。

大会前には、合同練習や大会中であっても対戦しないハーフタイムでは助言・練習方法を指示したりされたりと切磋琢磨しつつ互いにレベルアップしています。

⑧その他、今後の目標など

全国大会制覇した大分県の代表チームが、その年の九州大会では優勝できない？

大分のチームは、全国6連勝中であるが九州大会では、そのチームは、優勝していないこと、三佐ハンドにとっては伝説やジンクスとなっており12月下旬に行われる九州大会を制覇したいと思っています。

子ども達が中学・高校に行ってもハンドボールを続けてくれて、日本を代表とする選手となり大きな舞台で活躍しいずれは『指導者として帰ってきてくれるといいな』と思います。

保護者としては、何も小学生で全国大会へ出場しなくても（小学生レベルで勝ったって何のメリットもない、がんばってもらうのは、中学からだ）と一般的な親の意見をしていましたが、半年・1年と子どもがハンドに熱中するとともに、少しずつ周りの子どもよりたくましくなって行くのが目に見えて判るようになり、周りの環境や自分の役割がはっきりしてくると子ども達は、体験や観察学習することを凄い能力で吸収しはじめる。

失敗を恐れない自信・失敗を繰り返さない学習力をつけるためにもこの時期に色々なことを体験させることは、これからの人生観もかなり違って成長してくれるものと思います。

試合で負けることもまた良い経験となりますが、目標に対しては、着実に前へ進み勝利するための準備をチーム全体で進めてきました。

スポーツの基本は、『ランニング』基礎体力と持久力そして、心・技・体が備わり始めて良いプレイヤーに成長する。小学生の場合は、スポーツを楽しんでもらえることが重要だと考えています。

『いつまでも、キラキラ目を輝かせ生き生きとした人になってもらいたい』

三佐ハンドボールクラブ保護者会

男子優勝チーム
■沖縄県浦添市立神森小学校ハンドボールクラブ（沖縄県）

はじめまして沖縄県浦添市立神森小学校ハンドボールクラブです。

私は監督をしています宜野座伸二です。

神森小学校ハンドボールクラブの部員数男子は6年生18名、5年生2名、4年生3人、3年生3人、2年生2名、女子は5年生12名、4年生7名、合計46名で毎日練習に励んでいます。平成5年に創部されましたが、当初は、バスケットボールやバレーボールもやるクラブチームでしたが、平成6年に西日本小学生大会に出場して、ハンドボールのすごさに魅せられて、本格的にハンドボールクラブとして活動を始めました。これまでの実績は、男子は全国大会で優勝1回、準優勝1回、女子も全国大会では準優勝1回、3位1回と実績を持つ創部8年目のクラブチームです。

指導方針としては、ハンドボールの技術向上だけではなく、「人に優しく、何事にも積極的に取り組む、集中力がつく」子供に成長するように育成しております。部員の確保については、自分自身が学校の先生ではないために、子供たちにクラブ活動をしていない同級生に声かけしてもらってクラブに勧誘しています。それから地域の父母の皆様方には、毎日当番制にしてもらって、子供たちの面倒を見てもらい、コーチたちには仕事の休みの日に指導していただき、学校長には学校の体育館を毎日開放してもらい、全面的に支援していただいています。

練習は、月曜日～土曜日、休日（水曜日・日曜日）

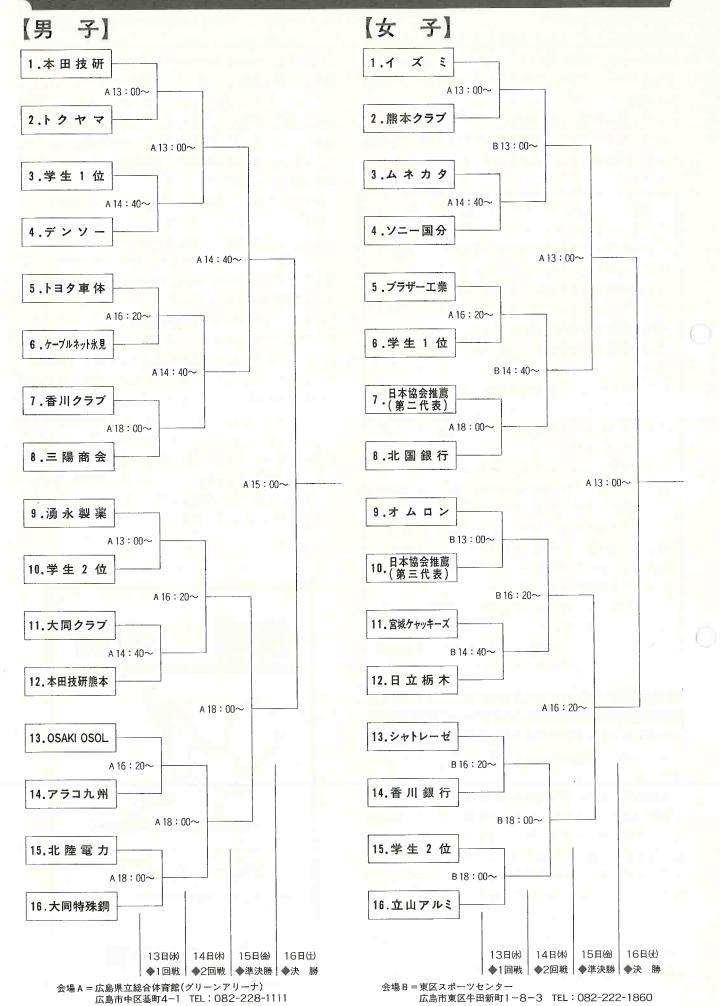
練習メニューは次のとおりです。

ランニング（10分）―体操（5分）―パス（15分）―シュート（30分）―休憩（5分）―ミニゲーム（1対1、2対2、3対2）（30分）―体操（5分）―ミーティング（10分）―後片づけ（5分）―帰宅

以上が、試合がない2か月前の練習です。

小学生の指導に携わって、最近思い感じることは、勝つことだけのための厳しい練習も大切なことかもしれませんが、子供たちにもっとハンドボールの魅力や楽しさを指導者が練習の中で教えていかなければ、上の学校に進学してもハンドボールを続けないのではないかと痛感しています。

今後の目標としましては、男子は今年の7月に全国大会で優勝していますので、12月に開催される九州大会に出場して、いい成績が残せるように、女子は5年生が主体なので、来年の全国大会を目標にして、これからも練習には励んでいきたいと思っています。

第52回全日本総合ハンドボール選手権大会組合せ

平成12年度　登録一覧表

平成12年9月30日 現在

	県名	一般L		一般A		学生		高専		高校		中学		小学生		リージョナル		合計	
		チーム数	人数	チーム数	人数	チーム数	人数	チーム数	人数	チーム数	人数	チーム数	人数	チーム数	人数	チーム数	人数	チーム数	人数
1	北海道	0	0	23	312	23	340	1	9	62	1,003	15	244	3	59	9	125	136	2,092
2	青森	0	0	15	211	5	62	1	15	20	346	2	43	2	49	0	0	45	726
3	岩手	0	0	12	169	3	34	1	24	45	906	32	876	0	0	16	220	109	2,229
4	宮城	0	0	10	128	10	173	2	36	47	942	18	353	3	35	0	0	90	1,667
5	秋田	0	0	8	113	2	27	1	17	12	231	4	93	3	79	0	0	30	560
6	山形	0	0	10	134	1	13	0	0	18	345	5	87	0	0	1	11	35	590
7	福島	1	15	6	65	3	35	0	0	38	585	24	573	0	0	0	0	72	1,273
8	茨城	0	0	14	200	4	66	0	0	65	926	41	769	5	96	5	69	134	2,126
9	栃木	1	17	5	95	2	35	0	0	22	386	16	391	0	0	2	23	48	947
10	群馬	0	0	8	128	2	22	0	0	18	281	17	363	2	81	2	23	49	898
11	埼玉	1	16	19	267	6	50	0	0	93	1,619	32	617	0	0	0	0	151	2,569
12	千葉	0	0	10	157	8	130	0	0	57	804	27	395	3	59	13	197	118	1,742
13	東京	1	16	15	279	44	704	2	36	137	1,484	25	391	2	14	46	831	272	3,755
14	神奈川	0	0	15	217	13	173	0	0	156	2,259	63	887	0	0	21	322	268	3,858
15	山梨	1	19	4	72	5	61	0	0	26	518	15	327	3	84	9	126	63	1,207
16	長野	0	0	5	67	4	64	0	0	12	226	0	0	0	0	1	10	22	367
17	新潟	0	0	7	124	1	18	1	21	29	423	0	0	0	0	0	0	38	586
18	富山	1	19	10	129	3	39	1	19	31	479	31	577	10	141	0	0	87	1,403
19	石川	1	20	8	136	3	42	1	17	26	374	0	0	0	0	1	10	40	599
20	福井	1	12	5	69	2	23	1	31	19	350	14	337	8	108	4	46	54	976
21	静岡	0	0	14	183	3	31	1	8	46	961	7	197	0	0	1	12	72	1,392
22	愛知	6	93	12	177	25	435	1	31	252	4,615	159	3,720	9	242	0	0	464	9,313
23	三重	1	20	9	132	2	23	2	31	35	499	31	721	5	60	0	0	85	1,486
24	岐阜	0	0	16	254	5	47	1	24	60	1,065	55	1,261	1	32	2	18	140	2,701
25	滋賀	0	0	6	100	3	36	0	0	22	430	14	366	0	0	4	42	49	974
26	京都	0	0	10	165	14	169	1	20	35	569	0	0	0	0	16	148	76	1,071
27	大阪	1	13	11	165	21	327	0	0	108	1,314	42	792	2	43	1	18	186	2,672
28	兵庫	0	0	7	105	12	152	1	12	91	1,330	30	717	1	24	10	144	152	2,484
29	奈良	0	0	5	60	5	65	0	0	27	427	23	384	4	39	1	13	65	988
30	和歌山	0	0	6	78	3	32	1	21	23	373	17	334	0	0	4	37	54	875
31	鳥取	0	0	4	62	1	12	1	26	15	213	6	91	0	0	1	14	28	418
32	島根	0	0	3	32	1	12	1	18	10	165	0	0	0	0	0	0	15	227
33	岡山	0	0	14	195	7	83	1	19	53	969	13	269	0	0	2	26	90	1,561
34	広島	2	31	3	56	6	85	1	18	21	304	6	126	0	0	6	82	45	702
35	山口	1	12	15	194	1	12	2	44	34	684	22	547	2	60	2	33	79	1,586
36	香川	0	0	4	53	2	24	0	0	26	391	22	448	3	64	0	0	57	980
37	徳島	0	0	0	0	0	0	0	0	7	128	0	0	0	0	0	0	7	128
38	愛媛	0	0	8	116	3	45	0	0	34	729	3	87	0	0	0	0	48	977
39	高知	0	0	4	64	3	29	1	13	14	151	10	117	0	0	5	58	37	432
40	福岡	0	0	9	128	14	252	2	38	55	982	21	404	0	0	1	16	102	1,820
41	佐賀	1	15	5	59	0	0	0	0	11	151	4	94	1	15	0	0	22	334
42	長崎	0	0	7	101	2	20	0	0	31	683	19	354	2	32	0	0	61	1,190
43	熊本	2	36	3	39	4	46	2	42	54	1,001	42	791	21	504	8	127	136	2,586
44	大分	0	0	6	87	2	16	0	0	15	219	12	202	14	177	0	0	49	701
45	宮崎	0	0	4	63	2	14	1	12	36	498	20	326	7	80	4	48	74	1,041
46	鹿児島	1	17	5	69	4	52	1	22	34	547	15	317	1	19	4	49	65	1,092
47	沖縄	0	0	11	169	5	73	0	0	65	1,259	62	1,494	18	362	20	258	181	3,615
	合計	23	371	410	5,978	294	4,203	33	624	2,147	35,144	1,036	21,482	135	2,558	222	3,156	4,300	73,516

ホーム＆アウェー制６年目

企画・広報委員
早川　文司

フリースロー
Free Throw

日本リーグは10日のムネカター日立栃木戦で女子は１月中旬、男子は２月初旬までの中断期間に入る。その間、休むまもなく全日本総合選手権が控える。リーグでの勢いをそのままぶつけたいチーム、あるいはリーグの不振挽回を狙うチームと、それぞれの戦いぶりが見どころのひとつでもあろう。

ところで、日本リーグがホーム＆アウエー制を採用して今シーズンで６年目を迎えた。

Ｊリーグの右へ習え一の感もなくはなかったが、それはともかく、果たして「成功」と言えるところまで、地域に密着しただろうか。こう問われると残念ながら首をかしげたくなるのではないだろうか。

この制度導入にあたっては、加盟チームの経費節減が当然ながらあったことも事実ではあるが、一方では地域にどこまでハンドボールを浸透させるかにあったのではないだろうか。

過去５年間のホーム入場者は、男女とも１試合平均で500人前後と決して芳しい結果ではない。一昨年と比較すれば、昨年はむしろ減少傾向にある。どうみても寂しい数字と言わざるを得ないだろう。

どのようにして観客増に結び付けるか。問題点はいろいろあろうが、ハンドボール、言い換えれば日本リーグ開催の認知度をどのように告知しているか、するかであろう。関心のない人はいつ試合があるか、知るチャンスがほとんどないのが現状ではないかと思っている。

先月号にも触れたが、バスケットボールもファン開拓に知恵を絞っている。地域を抱き込んで認知度を高めようと､教室などを積極的に開催していくとしている。

各チームともファン開拓にそれぞれ努力してきたには違いない。あるチームは選手寮周辺の住民にスケジュールを手渡して回っているという話を聞いたことがある。やはり地元民にいかに愛されるかも大切なことであろう。一度会場へ足を運んでもらえば、必ず「また行こう」と感動してくれるだろう。

親企業も、チーム・選手一体となって関心を持たせる努力が今後もっと大切になってくるだろう。景気の低迷から撤退チームもあるご時世である。選手側にしても「好きなハンドボールをやらせてもらっている」恩返しをする気持ちを持つことが必要ではないだろうか。親近感を与えることは、地域だけでなく、各企業の人たちにも欠かせない要素であろう。

今春、広島に誕生した異競技交流ネットワーク「トップス広島」の目的の一つに、地域住民に夢と感動を与え、活性化に貢献するとある。互いに試合会場に出掛け、応援することもうたっている。イベントや社会活動に参加して地域とも密着を深めることも行っている。こうした機会をとらえて、それぞれがアピールしていけば関心も沸いてくるだろう。

ホームタウンづくりは今後のスポーツ界には欠かせない重要な任務だろう。

ＪＯＣ(財団法人日本オリンピック委員会)経由の国庫補助金並びにスポーツ振興基金からの助成金の不適切な運用の件について

昨年、ＪＯＣ傘下の４競技団体の不正受給に端を発し、今般、11競技団体が標記の指摘を受け、残念ながら日本ハンドボール協会も平成８、10年度の運用について同様の指摘を受けました。但し、その内容は私的流用や二重請求などではなく、強化財源捻出のための科目拡大が主な指摘の内容でありました。

弊協会はこの事態を厳粛に受け止め、二度とこのような不祥事を起こさないような厳正なる対処を計画し現在実行しております。ハンドボール界はもとより、国内スポーツ界の信用を著しく失墜させたことは誠に遺憾であり、深く反省いたしますとともに、ここにあらためてお詫び申し上げる次第であります。

尚、すでに改善の対応として種々の策定を実施しておりますが、その責任を明らかにするために下記の通りの人事を決定いたしましたのでお知らせいたします。

１．辞任及び処分

専務理事辞任　　理事　　市原則之
財務担当辞任　　常務理事　殿水幸雄
降格　事務局長　　喜井美雄を事務局次長とする
降格　事務局次長　本多正樹を事務局員とする

２．職務代行

専務理事代行　　山下　泉筆頭常務理事
財務担当代行　　川上憲太常務理事
事務局長代行　　村松　誠常務理事

上記の発令を10月21日とする。

以上

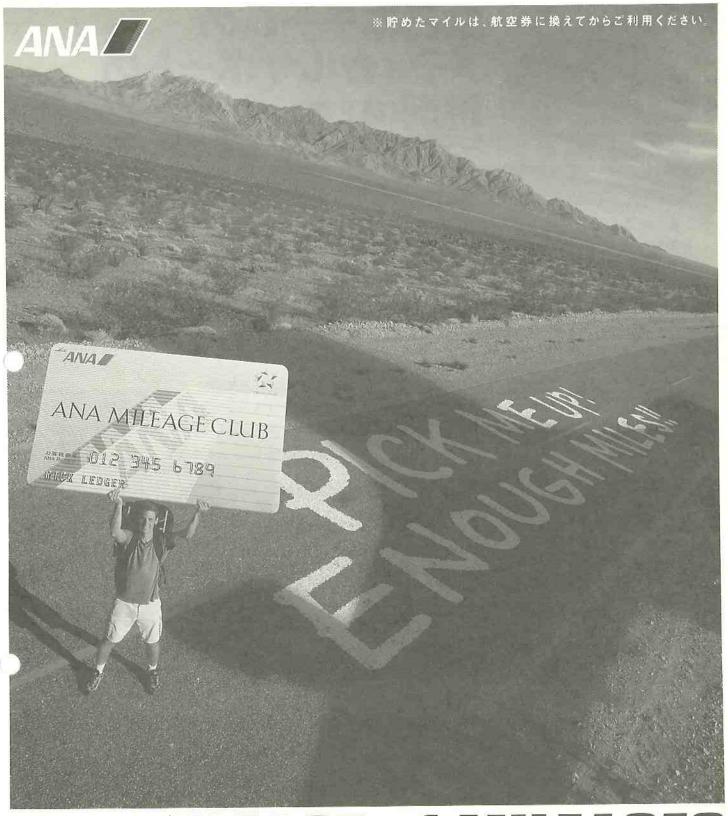
ANA

※貯めたマイルは、航空券に換えてからご利用ください。

ANA MILEAGE CLUB
012 345 6789
RICK LEDGER

PICK ME UP!
ENOUGH MILES!!

The MILEAGE of MILEAGES

ネットワークがひろがって、マイルがさらに貯めやすく、使いやすくなりました。

今、全日空の空が大きく広がろうとしています。充実した国内線はもちろん、国際的な航空会社ネットワーク「スターアライアンス」への加盟により、国際線もさらに拡大。マイレージも、ぐっとワイドに貯まります。選ぶなら、やっぱり「ANAマイレージクラブ」。貯めやすさが断然ちがいます。

*スターアライアンス加盟の提携エアライン

*スターアライアンス以外の提携エアライン

全日空(ANA)　エアーニッポン(ANK)

エアカナダ　ニュージーランド航空

アンセット オーストラリア航空

ルフトハンザ ドイツ航空

スカンジナビア航空

タイ国際航空

ユナイテッド航空　ヴァリグ ブラジル航空

オーストリア航空　ブリティッシュ ミッドランド航空　マレーシア航空　シンガポール航空　スイス航空

ANAマイレージクラブ

10月31日 全日空は、スターアライアンスに加盟。世界112ヶ国以上、760以上の都市をネットワークで結びます。

全日本チームのメディカルサポートの現況（第２報）

―メディカルチェック、治療、活動レポート―

医科学委員長　西山　逸成

第１報（「ハンドボール」ＮＯＶ．2000―No.413）に続き、2000年アジア女子選手権、第４回世界女子学生選手権及び日韓合同合宿時の「メディカルサポート状況」「メディカルチェックレポートによるスポーツ傷害（外傷･障害）」及びドクター・トレーナーレポートを紹介する。

1．メディカルサポート状況（表１）

Dr名	帯同事業	種別	期間	処置	メディカルチェック
Dr福田亜紀（鈴鹿回生病院）	日韓合同合宿（ブラザー工業）	NA女 U―16	8.26～8.30（15日間）	熱中症１人……点滴治療 足関節捻挫１人……アイシング	
Dr宮本和彦（熊本赤十字病院）	アジア女子Jr選手権（バングラディシュ・ダッカ）	NA女 U―19	7.22～7.31（10日間）	急性上気道炎６人……抗生物質 消炎鎮痛剤 打撲、筋肉痛３人……外用剤 消炎鎮痛剤 感染性腸炎１人……内服及び 点滴静注	表２（U―19）
Dr天門永春（横浜市立附属市民総合病院）	第４回 世界女子学生選手権（フランス）	NA女 U―23	7.22～7.31（10日間）	ドーピング・コントロール２名（Y．N、T．S）	表２（U―23）
Tr酒井　薫（おかもと整形外科クリニック）		NA女 U―23	遠征中の受傷 6.18～7.6 受傷者（４名 ６部位）	治療人員数（日間別　　日） 挫傷（左まぶた）……縫合・消毒 指DIP、PIP関節捻挫……アイシング・テーピング 関節捻挫……アイシング・テーピング 関節捻挫……救急病院 アイシング・テーピング・免苛 挫傷（左まぶた）……止血・テーピング	（トレーナー報告）
			遠征以前の外傷処置：（村上、田中、山田、柴田、徳永、森本、太田）７名		

2．メディカルチェックレポートによるスポーツ傷害(外傷・障害)状況（表2）

選手名		頭・頸部	上半身・上肢	下半身・下肢	処置・処方
女子ジュニア（U－19）	O．T			●腰椎分離症 ●左膝半月損傷 ●右膝半月損傷 ●左足関節腱鞘炎　C－1	
	N．S		左肩： ●肩甲骨回旋異常 ●左棘上筋、棘下筋炎 B－2		
	K．E		右肩甲骨回旋異常： ●右棘上筋炎　B－2		
	T．Mi		右肩痛： (SAB圧痛、挙上時痛)	足関節： ●両足関節陳旧性 外側靱帯損傷　B－2	
	K．H	頸椎疑い	●右棘上筋炎	●腰椎椎間板ヘルニア疑い ●両足関節陳旧性靱帯損傷 C－1	
	ドクター：宮本和彦（熊本赤十字病院）				
女子ジュニア（U－23）	K．Y			●右足関節外側靱帯損傷 C－2 ●右距骨後外側突起骨折疑い C－2	6月25日： 練習中ボールの上に乗り受傷 ――― 出場中止 ――― テーピング・アイシング・NWB
	T．Ma		●右上腕骨内上顆炎 B－1 ●右尺骨神経障害 B－1 △広背筋筋膜炎		消炎鎮痛剤 夜間シーネ固定 貧血　B－1（鉄剤）
	Y．N		△右肩impingment症候群 B－1 ●右上腕二頭筋長頭腱炎 B－1	●右下腿打撲 B－1 ●右前脛骨筋膜炎 B－1	
	K．M			●右足関節捻挫　B－1	
	S．M			●第5腰椎分離症　B－1	
	M．Ma	●右上眼瞼部挫創 B－1	●右小指DIP関節捻挫 B－1	●腰椎椎間板ヘルニア　A	圧迫止血処置
	H．A				（下痢症　A）
	M．T			●右足関節外側靱帯損傷 C－1	
	M．Mi	●左上眼瞼部打撲 B－1	●左母指MP関節掌側挫創　B－1 △右肩関節滑液泡炎		
	U．S				（鼻出血　B－1） （生理痛　B－1）
	O．T	●左上眼瞼部打撲 B－1		△左足底筋膜炎　B－1 ●左膝内側半月板損傷　B－2 △第5腰椎分離症	高2年時受傷 練習中locking 解除後サポター使用
	O．K	●左上眼瞼部挫創 B－1			6月12日練習中受傷 縫合処置(山梨医大) 6月25日抜糸
	ドクター：天門永春（横浜市立附属市民総合病院）				
	T．S			△両腓腹筋膜炎	

注）△トレーナー調査による遠征期間以前のスポーツ傷害　●遠征期間中の傷害

1 2000年世界学生女子選手権大会

トレーナー・酒井　薫（岡本整形外科クリニック）

2000年6月18日より7月6日までフランス・フェランで第4回学生女子ハンドボール選手権大会が開催された。試合結果は13チーム中11位であったが、日本チームの選手が最多得点賞を受賞するなど選手には実りある試合内容であった。

日本での強化合宿から本戦までのトレーナー活動について報告する。

1．日程

6月18日　パリ・シャルトル合宿
6月19日　練習10：00～12：00　地元チームと練習試合20：00～21：30
6月21日　練習10：30～12：00　練習17：00～20：00
6月22日　練習10：45～12：00　地元チームと練習試合20：00～21：30
6月23日　午前中休み　練習17：00～20：00
6月24日　フェラン(本大会開催地)へ移動　練習16：45～18：00
6月25日　練習9：00～10：00　開会式　予選第1試合VSチェコスロバキア
6月26日　練習15：00～16：45　試合観戦(ロシアVSスペイン)
6月27日　練習9：00～12：00　試合（VSロシア）17：00
6月28日　練習9：00～12：00　試合（VSスペイン）17：00
6月30日　練習9：00～12：00　試合（VS中国）17：00
7月1日　閉会式

2．治療報告

（1）外傷

a．遠征期間中に起きた外傷について

日付	名前	診断名	処　置	プレー
6/12	O．K	左まぶた挫傷	阪急病院にて縫合・消毒	可
6/12	M．T	左第5指DIP・PIP関節捻挫	アイシング・テーピング	可
6/22	M．T	右足関節捻挫	アイシング・テーピング	不可
6/25	K．Y	右足関節捻挫	救急病院へ搬送・日本で再診 アイシング・テーピング・免荷	出場禁止
6/30	M．M	左まぶた挫傷	止血・テーピング	可

（2）遠征期間以前から有していたスポーツ傷害および処置（問診表により調査）**（右上表参照）**

名前	外傷名および疾患区分	いつから	遠征期間中の処置（酒井トレーナー）	プレー
M．Ma	椎間板ヘルニアA	H10～	ストレッチ・マッサージ・テーピング	可
	膝ACL断裂	H8～		
T．M	上腕骨内顆炎B-I	H9～	テーピング・アイスマッサージ	可
	広背筋筋膜炎	H12～	ストレッチ・アイスマッサージ	可
		H9～		
Y．E	右肩関節滑液泡炎B-I	H12～	PNFストレッチ　テーピング	可
O．K	膝半月板損傷		腱板トレーニング	
S．M	第5腰椎すべり症B-I	H11～	ストレッチ・マッサージ・テーピング	可
T．S	両腓腹筋筋膜炎	H12～	ストレッチ・マッサージ・テーピング	可
M．Mi	右肩関節滑液泡炎	H12～	PNFストレッチ　テーピング 腱板トレーニング	可
T．M	大腿部肉ばなれ	H10～		
O．T	左足底筋膜炎B-I	H12～	アイスマッサージ・足趾トレーニング	可
	第5腰椎分離症	H10～	ストレッチ・マッサージ	
	大腿部肉ばなれ	H9～		
15名	足関節捻挫			

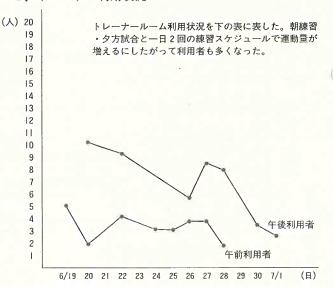
以前受傷し、現在も痛みを有しながらプレーをしている選手については上記のとおりである。全員が医療機関にかかり指示を受け、外傷部位に対してもテーピング・サポーターを使用していた。

また、こちらからの指示やアドバイスにも積極的に聞きいれチーム全体にコンディション意識が向上していったと思う。

（3）トレーナーの活動状況

a．トレーナーの日間スケジュール

7：30　散歩
8：00　朝食
8：45　テーピング・ウォーミングアップ補助
9：00　練習
11：45　クールダウン・アイシング
12：00　昼食
13：00　治療
16：00　軽食
16：30　テーピング・ウォーミングアップ補助
17：00　練習ｏｒ試合
20：00　クールダウン・アイシング
20：30　夕食・ドクターとミーティング
21：00　治療

b．トレーナー利用状況

（4）治療環境について

今回のフランス遠征ではトレーナールームとして2人部屋を用意してもらった。また事前にコーチの先生の方で選手から必要なテープ類の要望を聞いて用意されていたので不足分についてはトレーナーで用意した。

現地での氷の入手について、フランスではあまり氷を使う習慣がなく、手に入れるのが困難だったが、ホテルの食

材用の冷凍庫を使わせてもらう（監督調整）など工夫した。また大会医療スタッフと相談して、各会場に氷を用意してもらった。

ｄ）食事について

食事について、選手は特に問題なく現地の食事を受け入れていた。日本出発時に携帯用の日本食を買って体調の悪い選手や食欲のない選手に与えた。

軽食用のパンや果物も十分現地で調達できた。

ｅ）ドーピング検査（ＪＨＡ）

アンチドーピング講習は医科学委員長によって継続的に実施されているが、更に継続する必要がある。今大会はチームドクターが同行して検査を受検した。

今大会でドーピング検査が行われることは事前に知らされていたので選手が使用している薬やサプリメントを問診表に記入してチェックした。薬を服用する場合はすべてドクター（天門Ｄｒ.、岡本Ｄｒ.）とトレーナーに相談し、指示を受けてから服用させた。

選手が摂っているサプリメントのなかには効果は書いてあるが成分など未表示のものもあり、サプリメントを使用するにあたり、選手に効果及び成分等理解し使用することを教育することが必要である。

３．まとめ

今回のフランス遠征について前記のように全くプレーできなかった選手２名、外傷を有しながらプレーをしていた選手10名という状態であった。

選手の話によると外傷を有していても無理することが当たり前と考え、状態を更に悪化させていても誰にも伝えずに試合に参加するケースもあるという。こういった選手の自己管理能力を高めることも必要と感じた。

また、国外遠征で不便なことも多かったが、チームスタッフ及び現地のボランティアの方々の協力もあってトレーナー活動がスムーズに行えたと思う。

謝辞

今回の遠征に参加させていただき、貴重な経験を得ることができとてもうれしく思います。今後もまたこのような機会がありましたらぜひ参加させていただきたいと思います。最後になりましたが、日本ハンドボール協会、久保団長、水上監督、笹倉コーチ、平岡コーチ、栗山コーチ、天門ドクター、その他スタッフのご協力によりトレーナー活動を終えることができました。この場を借りてお礼申し上げます。

2 第7回男子ジュニアアジア選手権大会トレーナー帯同報告

リハビリテーション科　井升　聖滋

今回トレーナー活動として、初めて海外遠征を経験したので感想を含め報告したいと思います。

2000年８月23日から９月11日までイラン共和国のマシュハドで第７回男子ジュニアハンドボールアジア選手権が開催され、４年前まで当院におられた有田忍先生と帯同させて頂きました。選手権の結果は、12チーム中７位と好成績を残すことができなかったのですが、外国人選手とのコンタクトの強さ、慣れない風土での試合経験は、選手にとって貴重な経験になったと思います。

今回結成されたＵ―19チームの情報は、監督・有田ドクターと連絡をとり、選手一人一人の過去・現在における傷害の有無など身体の状態を把握し、コンディションを知る手がかりとしました。このことを元に、現地で入手困難であろうと思われる物品（テーピング・インテバンクリーム・モーラスシップ・アイスバック等）を確保しました。

出国する前日に、メディカルチェック及び薬物チェックを行いました。これは選手一人一人の身体の状態を把握し、過去の傷害の有無、その程度を調べる事により、おのおのに適したケアプランを作成し、実施するのに役立ちます。そして薬物チェックでは選手自身の健康管理に自覚を持たせることができました。

試合中の傷害としては、足関節内反捻挫・膝蓋靱帯炎・手指捻挫・歯牙外傷等が多く見られましたが、有田ドクターの正確な診断で問題なく処置を行えました。今回の帯同で行ったケアーは、練習・試合前はストレッチングとテーピング、試合後はアイシング、宿舎ではストレッチング・インテバンマッサージ・キネシオテープを主に行い、また選手自身の故障状態の把握と自己管理を目的とし、腰痛体操、腱板トレーニング等の指導も行いました。テーピングに関して同様の傷害を呈する選手でも、選手のポジション・癖に留意し選手の要望をできるだけ取り入れ、個人に合うテーピングを行いました。選手もテーピングには強い関心を示し、一緒に検討する中で互いの信頼関係を築けました。

イランのマシュハドの気候は、最高気温35℃最低気温15℃と夜間はかなり冷え込むため体調を崩す選手がいましたが、ドクターによる点滴、感冒薬などの処方から早期に回復することができました。食事は、日本食とはほど遠いことを想定し、米30kg・レトルト食品100食・湯沸かし器・炊飯ジャーを持参して行きました。これはおにぎりを作り試合の１～２時間前に栄養補給をさせる事を目的とし、また夜食としても役に立ちました。水分に関しては特に気をつけ、ミネラルウォーター・ジュース類以外は口にしないように指導しました。また氷・うがい等にも注意を促し、その結果重度の下痢を呈する選手はいませんでした。

運動時には粉末のスポーツドリンクを混ぜ合わせ、発汗量に対し定期的に補給させミネラルの補給を行いました。

今回のトレーナー活動で学び、今後のトレーナー活動に活かそうと考えている事は、選手自身で故障状態を理解し、自己管理をさせていくことです。これは個々の選手にある程度のスポーツ医学に対する知識を持たせ、プライマリケアや自己管理をさせるよう意識付けさせるべきだからです。

最後に本業である病院の業務がありながら、３週間という長い間アジア男子選手権の方へトレーナー活動を許可して頂いた院長先生をはじめ、フォローして下さった皆様方に深く感謝いたします。

山下美智子
田中美音子の

ヨーロッパだより

現在ヨーロッパ（デンマーク）に留学中の山下美智子、田中美音子の両選手から緒方強化委員長宛に近況を伝える手紙が届きました。ここに関係の皆さんのご了解を得て、その「おたより」を皆様にもご紹介いたします。

緒方　嗣雄様

緒方さんお元気ですか？ デンマークは日増しに寒くなる一方ですが、日本も少しずつ寒くなる季節かと思います。私はデンマークの生活にもだいぶ慣れ、充実した日々を送っています。シドニーオリンピックはデンマークが優勝という事でこちらは大変な盛り上がりでした。本当はオーストラリアで自分が体験したかったのですが…。

学校の方はハンドボールの授業に参加し、デンマーク語の勉強＋スコーバッケンの練習という具合です。

土日になればだいたい試合などが多く、完全な1日休みというのはありあまりません。

デンマークも10月10日からリーグが始まり、初戦はHORSENSでアウェイからのスタートとなりました。結果は23－24の1点差で負けてしまい初戦を白星で飾れなかったのが少し残念です。この試合は後半の15分間出場することが出来たのですが、初戦という事で少々緊張もあり記憶があまりありません。しかし、チェンジした時が、同点に追いつかれて一番大切な時に私の出番で少々びっくりしてしまい、とても良い経験にはなったと思います。

試合が終わり、とても悔しくて、みね子さんと2人で次は必ず勝つと誓いました。

10月15日にはホームでLSU Saebyと試合でした。アウェイとは違い初のホームでの試合、雰囲気もひとあじ違うし応援もすごかったです。この試合では、みね子さんの初得点で、私も自分の事のように喜びました。

私も前半、残り10分と後半フルで出場する事が出来、大きな収穫を得たと思います。結果も27－24で勝つ事ができ本当に嬉しかったです。大勢の人の前でプレーし、ホームで勝つのは気持ちがいいし、また違った喜びがあります。

試合後、帰り道にみね子さんと2人で“勝って良かった”と抱き合って喜びました。

しかし私も8月に来た時は、タイミング、ボールの速さに全く反応出来ず、このままやっていけるものかとても心配でした。試合でも1つも良い所がなく、焦りと不安、本当にあの時はうまくいかなくて、かといって、声を出し盛り上げれるわけでもなく、自分のスタイルさえもわからなくなってたと思います。

スコーバッケンにはGKのコーチがいて、週に1・2回教えに来ます。コーチに言われる事が頭で理解出来ても実際やってみるのは難しいもので、アジアのスタイルと多少異なる所もありますからね。やはりヨーロッパに来てるからには、こちらのキーピングスタイルを学ぼうと0からするのではなく、今までのスタイル＋良い所を吸収出来たら、ベストだと思います。スコーバッケンの2部のチームの試合に4回出ました。レベルの差はもちろんあるのですが、試合をする楽しさには変わりないなと思い、また違った楽しさの中でハンドボールをする事が出来、良い経験になったと思います。見ても勉強になるのですが、実際自分がやるのとはやっぱり大きな差があると思うので、2部の試合に出場出来、少しはこちらのタイミングに合ってきたのかな？と思います。まだまだ学ぶべき所がたくさんあるのですが、とりあえずは今その時が精一杯でやっているので、結果はどうであれ、少しでもチームに貢献出来ればと思います。デンマーク語がもっと喋れるようになればまた少しは違ってくると思うのですが。

リーグも始まったばかりですが、みね子さんと2人力を合わせて頑張りたいと思います。緒方さんがデンマークへ遊びにこられる事楽しみに待ってます。

山下美智子

緒方様

こんにちは。お久しぶりです、お元気ですか？

オリンピックの季節も終わりましたが、TVで見ることしか出来ないのがとても悲しいです。韓国で4位だったので日本はまだまだ遠い話なのでしょうか？

アテネオリンピックに向け、良い選手

「6」田中美音子、「12」山下美智子

をたくさん見つけて頑張って下さい。

私の方はリーグも始まり、2試合が終わりました。1勝1敗です。今、センターplayerに怪我人が多い為、1試合目½、2試合目⅔出させてもらいました。でも1試合目は最悪でした。チームが負けたこともありますが、大きな敗因はセンターにあったと思います（私以外に2人出ましたが、何の機能もしていませんでした）。本当に何も出来ずに終わったという感じです。いいわけになるかもしれませんが、言葉がまだまだ細かい所まで話せないことと、プレースタイルの違いに戸惑うことが多く、大変です。今までとは違った意味での、辛さ、しんどさがあります。ですがその中で2試合目、私が出ても勝てたことが、とても嬉しかったです。

私が出て負けてばかりでは、いろんな面で後悔されても困るし、日本をばかにされるのも、いやだったので少しはよかったです。でも、やはり全然まだまだのところがたくさんあり、本当にこれから、あと20試合の中で、どれだけ出来るかが、問題になってくることでしょう。

今はまだいろいろな思いがあります（すべてのことに関して）。もちろん勉強になる所もたくさんあります。やっぱり言葉が早く話せないと、センターとしてはしんどいですね（だから今は、全然楽しくないし、面白くないのが本音です）。始めから、うまくいくとも思ってなかったので…。わかっていたことです。すべてが嫌になったわけではなく、2部のチームでの試合なら、全然問題なく、出来ていたわけですから。トップレベルは違うということです。あまりうまく書くことが出来ませんので、終わりにします。でも心配はいりません。前向きな姿勢で常にいるつもりです。

美智子もはじめ、取り方の違いに戸惑っていたところもあったみたいですが、最近少しずつ、タイミングがあうようになってきたみたいで、試合でも頑張っています（本人の手紙を読んだらわかりますよね）。

すみません。長々と書きましたが一応、以上が近況報告です。

田中美音子

朗　報

勲五等瑞宝章
県ハンドボール協会副会長
平田幸男さん（七〇）
広島市佐伯区
美鈴が丘緑2丁目

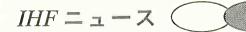
ハンドボールの普及に情熱

ハンドボール一筋五十年。競技の普及に情熱を注ぎ、「王国広島」の礎を築いた。さらに優れた指導力は、広島スポーツ界にも多大な影響を与えた。「長い蓄積が認められたのは、いい選手、関係者、地域に恵まれたおかげ」。感激もひとしおだ。

一九五〇年、修道学園の教壇に立ち、中学、高校にハンドボール部を設立。全国高校総体には在職四十年間で二十五度、出場に導いた。九五年からは、日本リーグ女子のイズミの総監督として活躍中。昨年度は主要三大会の完全制覇を成し遂げた。

「スポーツは人生の縮図」が持論。「ルールがあり、助け合いながら目標を目指し、喜び、悲しみを共有する。今後もその素晴らしさを伝えていきたい」

歩み一筋

2000年11月3日　中国新聞より

1999年度ハンドボールプレイヤー オブ ジ イヤー

男子はラファエル・ギボーサ（スペイン)、女子はアウラス・フリドリカス（オーストリア）が選出される。

ワールドハンドボールマガジン誌の読者で選出される、1999年世界のハンドボールプレイヤーが選出された。

ラファエル・ギボーサはバルセロナ出身のすばやくきびきびしたウイングで、ほとんど常に勝利を収める選手である。1999年の世界選手権での、ギボーサの印象的なプレーとチャンピオンリーグでの変わらない彼のプレーは、多くのファンに愛されている。1999年のMVP、ネディコ・ヨバノビッチ（ユーゴスラビア）は、スウェーデンのシュテファン・レフグレンとマグヌス・ビスランデルを押さえたものの、2位にとどまった。

女子の競争には厳しいものがあった。オーストリアのダイナミックなパワーの選手、アウラス・フリドリカスはデンマークのカミーラ・アンデルセンとセシリー・ゲガンガー（ノルウェー）を長い間かわすことが出来なかったが、今回ギボーサともどもはじめての受賞となった。

★結果の詳細

【男子】

	ポイント
1. ラファエル・ギボーサ（ESP）	5646
2. ネデリコ・ヨバノビッチ（YUG）	3437
3. ステファン・レフグレン（SWE）	1982
4. マグヌス・ビスランデル（SWE）	1856
5. アンドレイ・ラフロフ（RUS）	1619

【女子】

	ポイント
1. アウラス・フリドリカス（AUT）	4106
2. カミーラ・アンデルセン（DEN）	3393
3. セシリー・ゲガンガー（NOR）	2414
4. メレーテ・モラー（DEN）	1113
5. グリット・ユラック（GER）	1018

★過去の受賞者

【男子】

1988 ベセリン・ブヨビッチ（YUG）
1989 カン・ジェイウォン（KOR）
1990 マグヌス・ビスランデル（SWE）
1994 タラント・ドイシェバエフ（RUS）
1995 ジャクソン・リシャーソン（FRA）
1996 タラント・ドイシェバエフ（RUS）
1997 ステファン・ストックラン（FRA）
1998 ダニエル・シュテファン（GER）

【女子】

1988 スベトラナ・キティッチ（YUG）
1989 キム・ヒュンミー（KOR）
1990 ヤスミザ・コラー（AUT）
1994 ミア・ヘルマンソン・ヘグダール（SWE）
1995 エルゼベト・コスツイス（HUN）
1996 イム・オキョン（KOR）
1997 アーニャ・アンデルセン（DEN）
1998 トリネ・ハルトビク（NOR）

＊1997年の男子受賞者、ステファン・ストックランは現在日本の本田技研でプレーしている。

20世紀世界最高のハンドボールプレイヤー

シナイダ・ツルティナとマグヌス・ビスランデルが選ばれる。

今世紀世界最高のハンドボールプレイヤー2名は、簡単に言えば何時でも最高であった。IHFは、20世紀の最後の年半ばにいたり、シナイダ・ツルティナとマグヌス・ビスランデル男女各1名の優秀選手を発表した。発表と表彰式は、2000年6月17日（土）パリ・ベルシーで恒例のトーナメントのあと、エルビン・ランツIHF会長より行われた。

これ以上の専門家はいないと言うレベルの審査委員会には、IHF全加盟連盟、IHF代表者及びスタッフ、スポーツジャーナリスト多数、IHFパートナーなど参加を呼びかけられた。最終選考では、数百人のエキスパートが50年の歴史を越える世界ハンドボール史から、どの選手を今世紀のパーソナリティーとして年間に載せるか決定を下した。

スポーツでは何時でもそうなのだが、選ばれる権利のある選手は多数あったが、結局男女1名を投票で選ばざるを得なかった。2つの異なる時代とスタイルを代表する、現在はウクライナ人となっているシナイダ・ツルティナとスウェーデンのマグヌス・ビスランデルが僅かの差で選ばれることとなった。

★結果

【男子】

マグヌス・ビスランデル（スウェーデン）	20.4％
タラント・ドイシェバイエフ（ソ連・スペイン）	18.7％
アンドレイ・ラフロフ（ソ連・ロシア）	17.0％

【女子】

シナイダ・ツルティナ（ソ連・ウクライナ）	32.9％
アーニャ・アンデルセン（デンマーク）	29.2％
イム・オキョン（韓国）	10.5％

世界選手権通算ランキング

スウェーデン（男子）とハンガリー（女子）がランキング1位に

ワールドハンドボールマガジンでは、1997年に初めて過去に世界選手権・オリンピックに参加したことのある国全てのランキングを発表した。そして今年2000年の1号では、男女のジュニアの最新ランキングを掲載した。今回は、世界選手権における各国男女の通算ランキングを発表する。

男子はスウェーデンが文句なしのトップ。デンマークとルーマニアが後に続いた。女子はハンガリーが1999年の世界

選手権での好成績によりトップの座を守り、ルーマニア、ユーゴスラビアを上回るという結果になった。

ランキング表には過去全ての世界選手権における順位の流れを記してある（編集注・ここでは男女20位まで）。以下にその順位の決定方法を記しておく。

世界選手権本大会において1位となったチームに16ポイント、2位のチームに14ポイント、以下12位までに13・12・11…4ポイントまでを与えていく。13位から16位までに3ポイント。17位から20位までに2ポイント。21位から24位までに1ポイントをそれぞれ与え、その総合ポイント数で順位を決定する。

【男子ランキング】

			'38	'54	'58	'61	'64	'67	'70	'74	'78	'82	'86	'90	'93	'95	'97	'99	TOTAL
1	スウェーデン	SWE	13	16	16	13	14	10	10	6	8	5	12	16	13	13	14	16	195
2	デンマーク	DEN	12	11	12	11	9	14	12	8	12	12	8		7	2		7	137
3	ルーマニア	ROM				16	16	13	16	16	16	9	11	7	13	6	6		129
4	ユーゴスラビア	YUG			8		10	8	13	13	11	14	16	12			7	13	125
5	ハンガリー	HUN			9		8	7	8	9	7	7	14	10	5	2	12	5	103
6	ドイツ	GER	15	14	13	12									10	12		11	87
7	フランス	FRA		10		8								7	14	16	13	10	82
8	スペイン	ESP									6	8	11	11	11	5	9	12	73
9	ロシア	RUS													16	11	16	14	57
10	ポーランド	POL			11					12	10	13	3	5					54
11	アイスランド	ISL				10							10	6	8	3	11		53
12	スイス	SUI		12								4	5	3	12	9			45
13	エジプト	EGY													4	10	10	3	33
14	ノルウェー	NOR			10	9									3		4	3	29
15	韓　国	KOR											4	4	3	4	8	3	26
16	日　本	JPN							6	4	4	3		3		1	3		24
17	キューバ	CUB										3	3	3		3	3	8	23
17	クロアチア	CRO														14	3	6	23
19	オーストリア	AUT	14												3				17
19	アルジェリア	ALG										3	3	3		3	2	3	17

【女子ランキング】

			'57	'62	'65	'71	'73	'75	'78	'82	'86	'90	'93	'95	'97	'99	TOTAL
1	ハンガリー	HUN	14	11	16	13	12	13	13	14	8		9	14	7	11	155
2	ルーマニア	ROM	7	16	10	12	14	12	9	8	11	9	12	9	4	12	145
3	ユーゴスラビア	YUG	13	12	14	14	16	11	11	13	10	14					128
4	デンマーク	DEN	11	14	11	10	9	7				6	14	13	16	10	121
5	ノルウェー	NOR				9	8	8		9	13	10	13	12	14	16	112
6	ポーランド	POL	9	9	8		11	9	10		3	7	6		8	5	85
7	オーストリア	AUT	10								4	11	8	8	5	13	59
8	韓　国	KOR								10	5	5	5	16	11	7	59
9	ドイツ	GER											16	11	13	9	49
10	日　本	JPN		7	9	7	6	6			3			3	2	2	45
11	ロシア	RUS											11	10	12	4	37
12	オランダ	NED				8	4		7		6					6	31
13	フランス	FRA									3	3			6	14	26
14	スウェーデン	SWE	8									3	10	5			26
15	中　国	CHN									7	8	3	3	1	2	24
16	アメリカ	USA						5		5	3		4	2			19
17	マケドニア	MKD													9	8	17
18	クロアチア	CRO												6	10		16
19	アンゴラ	ANG										3	3	3	3	3	15
20	ブルガリア	BUL								6		4					10
20	ウクライナ	UKR												7		3	10

がんばれハンドボール10万人会情報

新会員紹介

【群　馬】
岡田智美、越石真理子
【神奈川】
二宮和絵、山内朋浩、加山洋子
【山　梨】
土橋　昭、天川正次、堀内和弘
【新　潟】
石田善彦、春日快雄、庭山ミエ、
庭山浩一、庭山政幸、藤崎孝、藤崎春香、
藤崎芙美代、藤崎修子
【富　山】
森　雅子、飯山真貴子、松田伊甲子、
中浦雅子、城川育子、田中要子、
旅　文夫、旅　和子、徳前順子、
小谷内寿信、田嶋静江、西坂真理子、
越前明子
【愛　知】
笹野邦雄、田中基明
【三　重】
加藤克彦
【岐　阜】
初山正樹、禅田能久、鵜飼　明、
小林幹義
【大　阪】
山中善之祐、中塚冨佐子、赤星　明、
藤本章裕
【兵　庫】
名生昭義
【岡　山】
後山富士水
【広　島】
築地恵子、深見ちひろ、寺地久志、
小城　緑
【福　岡】
伊藤康雄、楠原　隆
【佐　賀】
材木圭二、谷川賢二、舩津秀一、
村上直樹、阿部一人、高山昇太、
田中利和、宮野潤一、久保元紀、
田中慎一、植木宏和、谷川一寿、
元島邦彦
【長　崎】
柴田正男
【熊　本】
西　千春、大島隆志
【大　分】
小林浩一郎、一万田尚登、黒木八千代
【沖　縄】
大城　聡、大城大二郎、大城太郎

“翔け新世紀みやぎ”に車いすハンドボールが公開競技として採用決定

京都府ハンドボール協会副会長　小西博喜

平成13年度宮城国体で開催される“翔け新世紀みやぎ”のスローガンのもと平成13年10月27・28・29日の3日間、第37回全国身体障害者スポーツ大会が開催されるが、その中に“車いすハンドボール”が公開競技として新規に採用されることが決定した。誠に慶びに堪えない次第である。そのためにもアテネ・オリンピックには、男女アベック出場を果たさなければならない使命を負っている。まさに正念場である。

パラリンピックを目指す車いすハンドボールのスタートを喜び、記念し、アテネ・オリンピックに向けてのパラリンピックの政治的交渉と合わせて、世界的な視野での車いすハンドボールの紹介を積極的に支援し、加入に働きかけていく日本ハンドボール協会の体制づくりが必要であり、今後の挑戦課題である。

そこで、“翔け新世紀みやぎ”の全国身体障害者スポーツ大会に出来る限り多くの参加チームが出場されるよう各都道府県ハンドボール協会の積極的に取り組みによって盛況に開催出来ることを期待する次第である。

なお、11月26日（日）の第11回全京都車いすハンドボール大会に、宮城県車いすハンドボールチームが特別参加として出場することが決定した。各都道府県ハンドボール協会関係者の視察・見学等多数ご観戦いただくことを切に希望しお願いする次第である。

平成11年度から
新会員登録制度
スタート!

がんばれ ハンドボール 10万人会

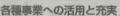
●HANDBALL　FAMILY

	年会費	主な特典
グランド会員	10.000円	日本協会機関誌（年11回） 日本協会主催大会無料パス 会員バッジ 日本協会認定グッズの割引
ファミリー会員	3.000円	日本協会主催大会無料 ペア券1枚 会員バッジ 日本協会認定グッズの割引

■登録増によるメリット

- メジャースポーツとして認知
- 登録金の増収

- スポンサーがつく
- 全員参加意識の高揚

財源確保

各種事業への活用と充実
○小・中学校の普及
○ビーチ・マスターズ・車いすハンドの支援
○ミニハンドボール競技の導入
○ジュニア層の重点強化
○各大会の補助金アップ
○国際大会の招致
○一貫指導体制の確立

団結しよう!
ハンドボール・ファミリー

少子化の影響などにより登録人口の減少傾向が各スポーツ界の大きな悩みになっています。昨今の経済不況も深刻さを増すばかりです。

今こそハンドボール・ファミリーが団結する時です。皆さんが自分のチームを愛するように、日本ハンドボールを愛して下さい。登録人口が増え、財源が大きくなれば、小・中学校の普及はもとより、ビーチ・マスターズ・車椅子ハンドボールの支援、ミニハンドボールの普及、また強化の根幹となるジュニア層の重点強化、そして各大会の補助金アップや国際大会の招致などにつながります。

皆さん1人ひとりが主役です。選手、審判、役員、OB、OGなどに限らず新たなサポーターも募り、全員参加のもとでメジャー化を図り、ハンドボール文化を構築しましょう。

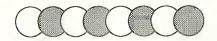
グランド会員、ファミリー会員への入会方法

所定の申し込み用紙に必要事項をご記入の上、お申し込み下さい（郵送の場合は切手は必要ありません）。後日、日本ハンドボール協会から会員バッジなどをお送りします。年会費はご指定を受けた金融機関の口座から引き落としさせていただきます（ほとんどすべての金融機関でご利用できます）。

なお、申し込み用紙は、日本協会、各都道府県協会、または各全国連盟事務局にご請求下さい。

財団法人　日本ハンドボール協会

〒150-8050　東京都渋谷区神南1-1-1　岸記念体育館内
TEL.03-3481-2361　FAX.03-3481-2367
http://www.handball.or.jp/

平成12年度　全国理事長会　開催される

例年、国民体育大会開催時に開催されていた、全国理事長会が本年も、第55回国民体育大会開催時期に合わせて、氷見市で開催された。理事長会は、国体諸行事が行われる忙しい中、全国の都道府県協会、並びに全国連盟理事長の参加の元、午後2時より、5時まで活発な討論がなされ、実りある会となった。会議終了後は懇親会が開催され、日本協会役員、並びに富山県協会役員、全国各理事長との情報交換がなされた。

【参加者】

横山繁（青森）、谷藤勝美（岩手）、千田文彦（宮城）、高山重雄（秋田）、奥山重雄（山形）、大村久（茨城）、稲生茂（千葉）、福本弘（東京）、川辺孝夫（神奈川）、藤崎孝（新潟）、岩下道範（長野）、越前敏丈（富山）、村井輝邦（石川）、志々場修二（福井）、西村亮治（愛知）、杉本真一（岐阜）、藤本昇（京都）、中村博幸（大阪）、大原康昇（兵庫）、中川敏文（奈良）、串野寛（和歌山）、永井忠和（岡山）、西元義昭（広島）、増田雅夫（山口）、柳原勉（愛媛）、武田末男（高知）、末永功（佐賀）、葦原大三（熊本）、一万田尚登（大分）、宮元章次（宮崎）、新垣健（沖縄）、近森克彦（実連）、福地賢介（学連）、山下勝司（教職員）

【日本協会】

中澤副会長、市原専務理事、山下筆頭常務理事、殿水、大西、斎藤、川上、江成、喜井、村松各常務理事、佐分正典「がんばれハンドボール10万人会」推進本部長、緒方、兼子各参事

開会に先立ち、富山県協会、中川周三会長より、歓迎の挨拶が述べられた。

市原専務理事より、JOCと日本体育健康センター振興基金による、助成金・補助金の使途について、運用が不適切であることの指摘を受けたことについて、説明と陳謝がなされた。10月21日常務理事会で対処について審議する。

NTS（ナショナルトレーニングシステム）について

7月から9月にかけて9ブロックで、トレーニングを実施した。この中より優秀な選手を選考してセンタートレーニングを11月以降に実施することの報告があった。

トレーニングの実施に向けて、NTS強化指導教本とコーチングビデオ2巻セットの購入をお願いした。

このシステムについては、文部省より評価を得た。

がんばれハンドボール10万人会現状報告

平成12年度9月4日現在の登録人口について報告。サポート会員の入会状況に、都道府県により格差があり、当初依頼した会員目標50名になるよう協力要請がなされた。

11月に会報を全会員に送付する、内容は、入会状況、会員の広場、10万人会に望む、決算報告等で、準備を進めている。

【質疑応答・意見交換】

1. 国体夏季移行について

（岡山・永井）

移行には反対だが、決定であれば従う。

（千葉・稲生）

他競技団体の意向は？、移行についてのメリットは？

サッカーは高知国体より移行を決めている。移行すれば、全種別を体育館で実施、BS放映の可能性がある。日本協会として、参加できない県に参加の道を開くため、参加人数の増加、ハンドボール全種別について体育館での実施、以上について申請する。

（兵庫・大原）

メリットがあれば夏でもよいが、空調のない体育館でのプレーは危険だ。

（宮崎・宮元）

ブロック大会など、他の競技会の期間を変更しないで移行できないか。

（京都・藤本）

バレー・バスケットが移行すれば体育館を活用できる。ブロック大会の日程変更は難しい。学校関係では、夏の開催は難しい。

日体協はブロック大会を活性化し、国体をメジャー化したいとの意向があり、移行すれば夏の大会も注目されるようになる。IOCでは、夏の競技を冬に移行するとの意見があり、移行の可能性もある。

（岩手・谷口）

ブロックは、6月インターハイ予選、7月各大会のブロック予選の移行はできない。現状では夏季移行は、難しい。

（大阪・中村）

ブロックとして、学校のシステムの見直しをしてから移行を考える。開会式を夏秋2回やることになり費用の問題もある。

（関東・佐分）

ブロックにはこの時期に大会が重なり、運営上の問題がある。

（熊本・葦原）

高校生はインターハイを最高の競技として意識していることから、移行は難しい。

（山口・増田）

インターハイは学校の行事として実施のため、動きづらい。夏季移行はインターハイ後に選抜チームを編成した場合強化する時間がない。

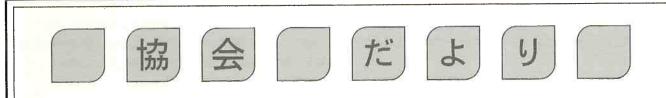
（愛知・西村）
愛知は高校のスケジュールで難しい。メリットを考え決まってしまえば日程を合わせる。メリットを取って賛成である。
（愛媛・柳原）
夏季移行は苦しい。就職の問題も起こる。移行が決まればチーム数に還元してほしい。
（石川・村井）
現状では日程的に無理である。移行の場合は出場できない県を生かせるか。
日本協会競技部としてチーム数の増大を考えている。移行の場合は体育館使用などメリットを要求する。

2. 国体活性化について
（大分・一万田）
クラブチームが県の補助金で出られるのは国体くらいしかない。日本リーグの国体辞退は無いか。
（広島・西元）
地元に貢献できるのは、補助金をもらえる国体くらいしかない。
日体協は、超一流の選手の参加を期待している。テレビ放映できるのも強いチームであるから実現できる。日本リーグの強いチームの出場によって、国体をメジャー化できる。
（兵庫・大原）
全県１チームが理想で、ブロック予選がいらなくなる。
（秋田・高山）
ブロック代表枠は、日本協会登録数で決めている。全県一律１チームは考えられないか。
見直しについては考えていない。計算式によって決めている。
（福井・志々場）
県で１チームが参加できることを望む。
（千葉・稲生）
決定方法のはっきりしている数字だと思う。各県で１チームは出たいとの意見は理解できる。
（愛媛・柳原）
活性化のため特別枠を設ける、変動型で参加可能にする考えは。

3. 指導者資格について
本年富山国体より、ベンチ入りするスタッフは有資格者が望ましいことになった。2008年国体より、公的資格を持ったものが、１名義務づけられる。
少子化傾向の続く中での普及について、選手登録、18才人口の推移について資料に基づき説明がなされ、都道府県協会が普及の要であり、参加の市町村協会を把握し、地方から地方への普及活動の促進が依頼された。
（熊本・葺原）
熊本でも中高生は減少ではあるが、小学生は元気になっている。これは、20年前の小学生が今小学生を持つ親になっていることがある。公認指導者養成につなげるため、C級の下に独自の資格を考えてもらいたい。
（宮崎・宮元）
スポーツ少年団には登録しているが、日本協会には登録していないケースが見られる。日本協会登録を促進して頂きたい。

4. NTSについて
（茨城・大村）
ブロックトレーニングについて、参考になる面が大きかった。日本協会事業として日程に入れ、予算化して欲しい。
次年度について、補助金の申請ができる。
（宮城・千田）
東北は南北に長いという地理的条件を持っているため、幅広く選手を集めることから、ブロックを南北に分ける方法を考えたい。
（広島・西元）
トレーニング時に選手の励みになるため、役員の参加視察を頂きたい。

5. その他
（千葉・稲生）
加盟団体役員登録における還元金の依頼。
中体連大会での外部コーチのベンチ入りについて、中央で認められていることが地方で認められないのはおかしい。
ビーチハンドボール世界選手権について、開催が危ぶまれているが。
秋田のワールドゲームズは、ブラジルでの世界選手権が中止であっても開催に向け準備をしていく。

以上、予定時間を大幅に越え、参加者による活発な討論が行われて、有意義な理事長会となった。

10月度常務理事会

【日　時】平成12年10月21日（土）
13時～17時30分
【場　所】代々木第２体育館会議室
【出席者】渡邉、中澤副会長、専務理事、常務理事9名、参事3名、監事3名、事務局２名

助成金・補助金の不適切受給の問題について、早急に対処する必要があるため日程が変更したことを報告。

報告事項

1、「がんばれ10万人会」登録状況について

サポート会員入会状況について、入会会員なしの２県協会と会員の多い広島、大阪、福島、東京の状況報告があった。

会報の準備状況について

10万人会推進施策について

2、日本リーグ審判評価表について

日本リーグを担当する審判員の、研修会の成果があったかを評価する。審判員のレベルアップと、今後の研修の参考にする。評価表について異論があったが、当面は提案の項目で実施することを了承。

3、平成12年度登録のまとめ

本年度の登録について、前年度と対比した報告があった。

4、全日本総合について

大会要項について検討。

後援名義使用について、開催地と連携して対処する。

広島県総合体育館をメインとして実施。

5、出場チームについて

男子、日本リーグ8、ジャパンオープントーナメント1、2位、はすでに決定。全日本学生連盟枠は、11月の全日本学生選手権の1、2位。日本協会推薦枠は、日本リーグ1、2、3位のアラコ九州、北陸電力、トクヤマ、およびジャパンオープン3位のケーブルネット氷見に決定。

女子、日本リーグ9、ジャパンオープン２はすでに決定。全日本学生連盟は11月開催の全日本学生選手権1、2位。日本協会推薦枠は、ジャパンオープン3位の香川銀行と全日本学生選手権3、4位のチーム

6、日本リーグ部長会報告

9月8日開催の部長会議事について報告

7、普及特別委員会について

日本協会普及特別委員会について、目的、役割について報告

8、2001年ビーチハンドボールについて

秋田ワールドゲームズ2001本荘市実行員会設立総会開催の報告

審議事項

1、第２次補正予算について

日本体育協会および大崎財団からの助成金交付決定、新規事案と事業中止、一般会計からの支出が増えることを懸念して積立金の取り崩し、各部事業費の節減などから、第2次補正予算を編成し、承認した。

2、日本スポーツ賞（読売スポーツ賞）、朝日スポーツ賞の候補推薦について

朝日スポーツ賞については該当者なしのため推薦を辞退。

日本スポーツ賞については、次回常務理事会で候補者を決定する。

3、人事について

渡邊副会長より、補助金・助成金の運用で一部基準に合わない指摘を受けたことについて、責任を明らかにするために、正副会長会議で処分と人事について検討したことが述べられた。10月21日付けで発令することを承認。

審判審査指導委員会の報告

審判委員会審査指導委員長　　加藤雅之

9月19日（日）愛知県大同特殊鋼健保会館にて、審判審査指導委員会を開催致しました。その内容を報告致します。
【出席者】藤本昇、福田英明、川島克之、島田房二、高村誠一、斉藤実委員長、後藤登国際委員長、加藤雅之　以上8名

1. 公認A級・B級審査結果について

	A級	B級
審査申請者	23	41
書類不備	2	1
欠席者	4	5
実技不合格者	0	0
筆記不合格者	0	0
体力不合格者	0	／
合格者数	17	35

・A級受験者は現在研修中であり、研修手帳の提出日が10月15日故、合格発表は、11月1日付けで、ブロック部長、県審判長に通知します。
・10月1日付けで、ブロック部長、県審判長に通知します。

2. JHAレフェリーコースについて

前期は8月16日〜18日、甲府市にて開催しました。申請者22名中ケガのため1名欠席の、21名が参加致しました。後期は3月愛知県にて実施の予定です。
・前期受講し、後期欠席の者に対する救済法として、次年度の後期にのみ受講の資格を与えることに致します。
・大学の指導者及びOB各位の努力で、近年受講者が増加しております。しかしながら、実のあるコースにするため、以下の事項の確認を致しますので、ご協力をお願い致します。
①年齢が25歳未満であること
②受講者限度を20名以内とすること（公募より先着順で締め切ることとする）

3. レフェリー評価について

インターハイにおけるレフェリー評価を行ったが、静岡県・大阪府から派遣された計3ペアは、全国大会を担当するに値しないという低い評価でした。したがって該当の県・府に対し、審査指導委員会から、研修会の在り方・ノミネート方法等、再考を要する警告を出すことにしました。

4. 日本リーグ審判員のための講習会について

日本リーグを担当する資格を得る講習・研修会として、次のものを指定します。
①日本リーグ審判員のためのブロック講習会
②プレーオフ時の講習会
③トップレフェリー・日本リーグ担当レフェリー研修会
③の研修会については、日本全体の審判技術の向上を目指すため、チーム監督も加わっての研修会ゆえ、これへの参加を促進します。
また、③については、本年度初めて実施したが、この成果がどう実際の試合運営に現れているかを、会場在住者を中心に評価してもらうことにしました。いずれ該当者に依頼が発送されることになります。

5. 新競技ルールについて

本年度IHFシンポジウムが開催され、その内容が後藤氏から報告されたが、新ルールに対する今後の予定として、本来昨年IHFシンポジウムが開催される予定だったが、1年延期になったためシドニーオリンピック期間中に競技ルールが決定されるであろう。したがって国際的には2001年8月に新ルールが施行されることになる。
これを受けて、日本は平成14年4月1日、新ルール施行とします。

6. 平成12年度全日本総合選手権大会審判員ノミネートについて

各種大会、研修会等総合的評価から、本年度の総合選手権には、以下の8ペアをノミネートすることに決定しました。尚リザーブ審判員には、自費参加の道を残すことにしました。

浜田　浩和・小笠原久朗　　仲田　稔・植村　彰
小林　一夫・土屋　雅男　　浅野　幹也・神谷　真次
藤井　俊朗・大熨　嘉彦　　中地　健三・仲里　貢
中舘　豊・多田　和生　　龍　弘美・貞島　早苗

訃報

(財)日本ハンドボール協会元常務理事、伊藤和夫氏（愛知県ハンドボール協会顧問）には、かねてより病気療養中のところ、10月25日夜ご逝去なされました。

伊藤和夫氏は、昭和50年に理事に就任され、平成4年まで16年間に亘り主に普及関係にその重責を全うされ、日本ハンドボール協会の発展にご尽力なされました。また、昭和56年の財団法人化にあたっては、設立当初の理事としてもご活躍なされておりました。

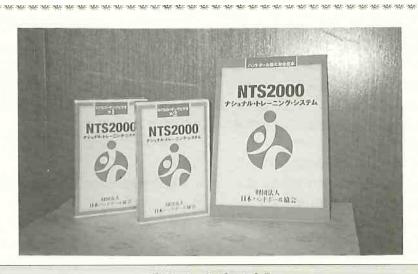
さらには、愛知県協会理事長としても、ハンドボール王国と言われる、愛知県ハンドボール協会の発展にもご尽力なされ、まだ記憶に新しい第49回国民体育大会を成功に導かれました。

ここに謹んで、ご冥福をお祈り致します。

NTSビデオのご案内

申し込み方法

現金書留で、下記の住所に申し込んでください。
〒150-8050　東京都渋谷区神南1-1-1岸記念体育会館内
財団法人　日本ハンドボール協会
NTS強化指導教本＆コーチングビデオ係

1セットの場合：10,000円＋送料（　900円）＝10,900円
2セット以上：（セット数×10,000円）＋送料（1,000円）
セット内容：強化指導教本……1冊、
　　　　　　コーチングビデオ60分VTR……2巻

[12月の行事予定]

[大会]
★第52回全日本総合選手権大会
　12月13日(水)～16日(土)：広島・県立総合体育館ほか
★第25回日本リーグ
　全国各地

[会議]
☆常務理事会
　12月16日(土)：広島

HAND BALL CONTENTS DEC

柔らかな感触で、最適なバウンド！

PKCH3-AD DX
5,500円

new

PKCH2-AD DX
5,400円

PKCH1-ADJ
3,600円

手縫い・国際公認球

PKCH3-AD
4,600円

PKCH2-AD
4,500円

PKCH2-ADR
2,700円

PKCH3-ADR
2,800円

MIKASA®
明星ゴム工業株式会社

(財)日本ハンドボール協会編『ハンドボール』第四一四号
昭和四十年六月七日 第三種郵便物認可
平成十二年十一月二十六日印刷 平成十二年十二月一日発行
東京都渋谷区神南一—一—一
電話 代表 三四八一—二三六一
振替 〇〇一二〇—七—一〇二九三
編集兼発行人 市原則之
価格は登録金に含む